

**区・町内会・自治会向け  
町内会に関するアンケート調査 報告書**

**市民生活部市民活動推進課**

**令和5年3月**

## 区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査結果

- 1 目的：今後の町内会活動に対する支援のあり方について検討するにあたり、町内会活動の現状や課題を把握するため、実施しました。
- 2 対象：市内のすべての区・町内会・自治会 558 団体
- 3 方法：令和4年11月号広報とともに配付し、郵送で回収  
又はあいち電子申請システムを利用したウェブアンケート
- 4 期間：令和4年10月28日（金）から11月18日（金）まで
- 5 回答団体数：460 団体（回収率 82.4%）
- 6 その他
  - ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入していますので、合計が 100%にならないことがあります。
  - ・ 図表中の「n」は、集計対象者総数、あるいは限定条件に該当する人数を示しています。
  - ・ 選択肢の文章等を簡略化してある場合があります。
  - ・ 自由意見・その他意見は原則、原文のまま掲載していますが、必要に応じて団体名・地域が特定されない形での編集や抜粋、趣旨が変わらない程度の修正等を行っています。

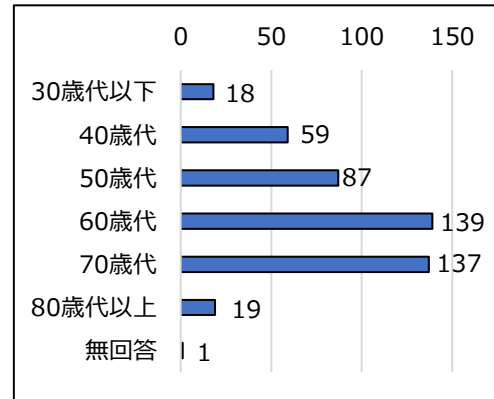
### 回答状況

	合計	回答方法	
		紙	電子
配付数	558		
有効回答数	460	417	43
割合		90.7%	9.3%
回収率	82.4%		

## 1 回答者の年齢 n=460

- 「60歳代」(30.2%)が最も多く、次いで「70歳代」(29.8%)、「50歳代」(18.9%)の順となっている。
- 50歳代以下が代表者をつとめる団体も3割以上ある。

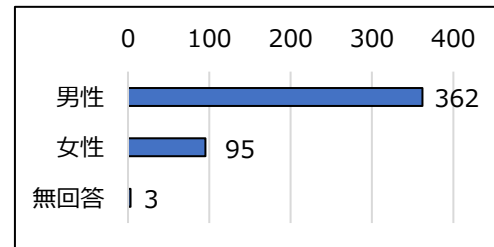
	年代	回答数	割合
1	30歳代以下	18	3.9%
2	40歳代	59	12.8%
3	50歳代	87	18.9%
4	60歳代	139	30.2%
5	70歳代	137	29.8%
6	80歳代以上	19	4.1%
7	無回答	1	0.2%



## 2 回答者の性別 n=460

- 「男性」78.7%、「女性」20.7%である。

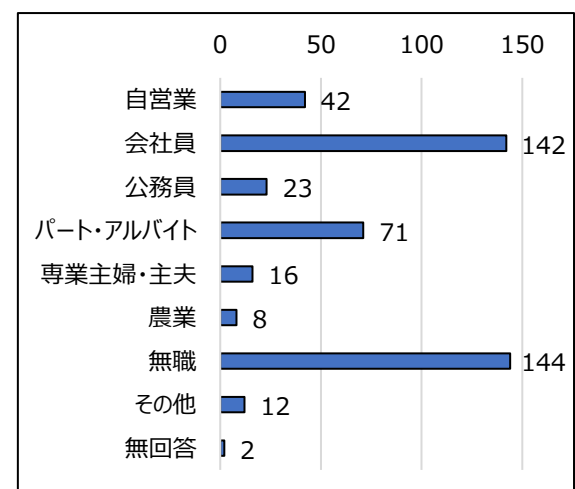
	性別	回答数	割合
1	男性	362	78.7%
2	女性	95	20.7%
3	無回答	3	0.7%



## 3 回答者の職業 n=460

- 「無職」の割合は31.3%であり、半数以上の代表者がほかに職業を持っている。

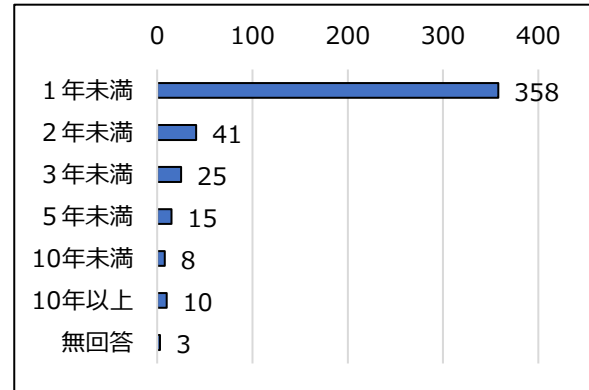
	現在の職業	回答数	割合
1	自営業	42	9.1%
2	会社員	142	30.9%
3	公務員	23	5.0%
4	パート・アルバイト	71	15.4%
5	専業主婦・主夫	16	3.5%
6	農業	8	1.7%
7	無職	144	31.3%
8	その他	12	2.6%
9	無回答	2	0.4%



#### 4 通算在職年数 n=460

- 「1年未満」(77.8%)が最も多く、次いで「2年未満」(8.9%)、「3年未満」(5.4%)となっている。
- 長期間にわたって代表者をつとめている団体もある。

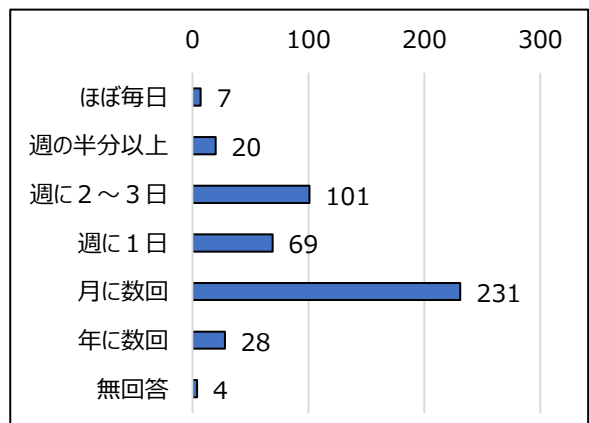
	通算在職年数	回答数	割合
1	1年未満	358	77.8%
2	2年未満	41	8.9%
3	3年未満	25	5.4%
4	5年未満	15	3.3%
5	10年未満	8	1.7%
6	10年以上	10	2.2%
7	無回答	3	0.7%



#### 5 町内会活動に従事する日数 n=460

- 「月に数回」(50.2%)という回答が最も多かった。
- 「ほぼ毎日」(1.5%)、「週の半分以上」(4.3%)活動している団体がある一方、「年に数回」(6.1%)しか活動していない団体もあり、活動に従事する日数は団体ごとにばらつきがある。

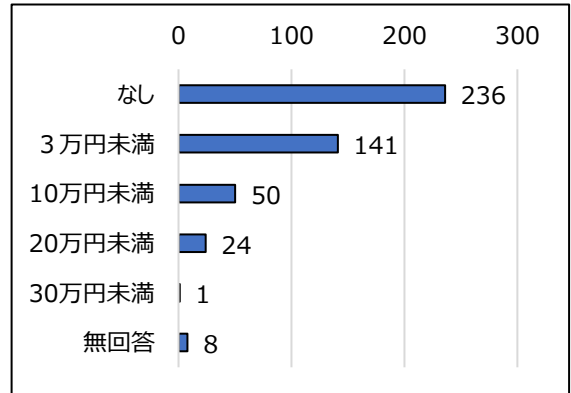
	町内会活動に従事する日数	回答数	割合
1	ほぼ毎日	7	1.5%
2	週の半分以上	20	4.3%
3	週に2～3日	101	22.0%
4	週に1日	69	15.0%
5	月に数回	231	50.2%
6	年に数回	28	6.1%
7	無回答	4	0.9%



## 6 役職手当の有無 n=460

○ 代表者の役職手当があると回答した団体は 47.0%である。

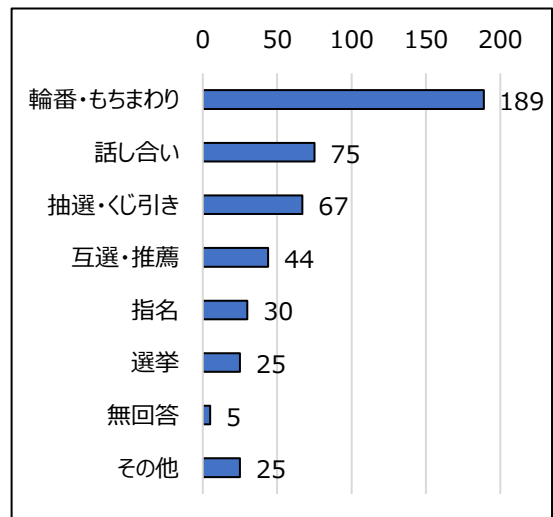
	代表者の役職手当（年額）	回答数	割合
1	なし	236	51.3%
2	3万円未満	141	30.7%
3	10万円未満	50	10.9%
4	20万円未満	24	5.2%
5	30万円未満	1	0.2%
6	無回答	8	1.7%



## 7 代表者の選出方法 n=460

- 「輪番・もちまわり」（41.1%）が最も多く、次いで「話し合い」（16.3%）、「抽選・くじ引き」（14.6%）であった。
- 「輪番・もちまわり」や「話し合い」で決まらない場合に「抽選・くじ引き」を実施する団体もある。

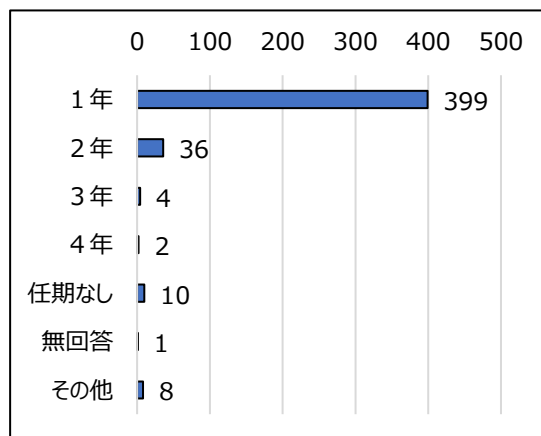
	代表者の選出方法	回答数	割合
1	輪番・もちまわり	189	41.1%
2	話し合い	75	16.3%
3	抽選・くじ引き	67	14.6%
4	互選・推薦	44	9.6%
5	指名	30	6.5%
6	選挙	25	5.4%
7	無回答	5	1.1%
8	その他（立候補、輪番・もちまわりと抽選・くじ引きなど）	25	5.4%



## 8 代表者の任期 n=460

- 「1年」(86.7%) が最も多く、次いで「2年」(7.8%)、となっている。「3年以上」や「任期なし」、また「半年」としている団体もある。
- 「通算在職年数(質問4)」の回答と比較して、実際には任期より長く代表者をつとめている団体もある。

	代表者の任期	回答数	割合
1	1年	399	86.7%
2	2年	36	7.8%
3	3年	4	0.9%
4	4年	2	0.4%
5	任期なし	10	2.2%
6	無回答	1	0.2%
7	その他(半年、会長と顧問を合わせて複数年など)	8	1.7%

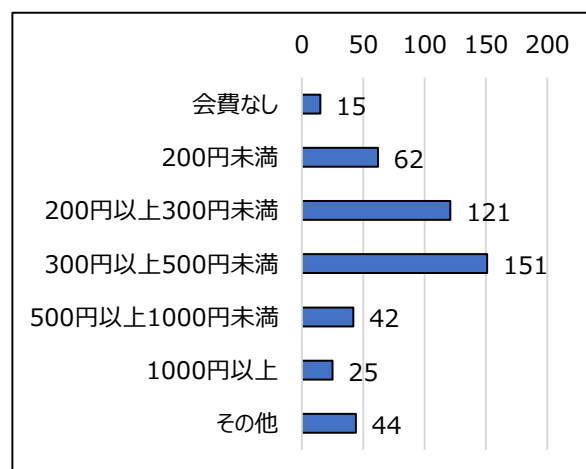


## 9 町内会費 n=460

- 回答のあった団体の会費の平均は391円/月となった。
- 過半数の団体で200~500円/月の会費を集めている。
- 会費が高額の場合、団体で管理する浄化槽や集会施設の管理費等を含む場合がある。
- その他、コロナ禍になってから会費を集めていない、などの回答があった。

### 平均月額 391円/月

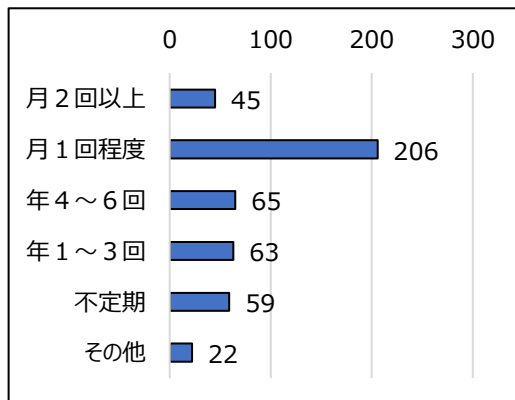
会費(月額)	団体数	割合
会費なし	15	3.3%
200円未満	62	13.5%
200円以上300円未満	121	26.3%
300円以上500円未満	151	32.8%
500円以上1000円未満	42	9.1%
1000円以上	25	5.4%
その他	44	9.6%



## 10 役員会・定例会の開催回数 n=460

- 「月1回程度」(44.8%)が最も多く、次いで年「4～6回」(14.1%)、「年1～3回」(13.7%)の順となった。
- 新型コロナの影響で、役員会を開催していない団体もある。

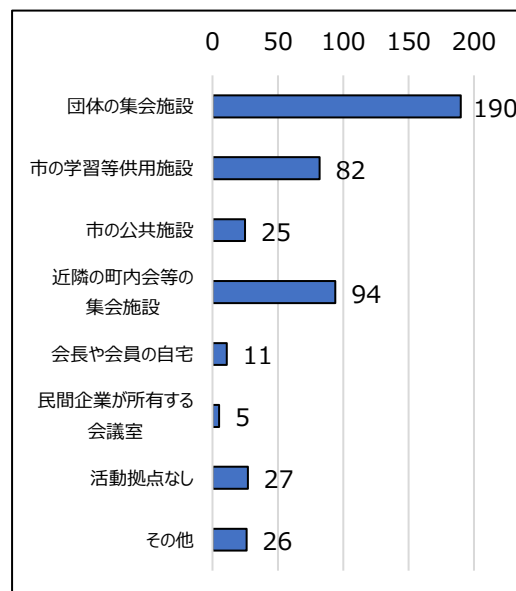
	役員会・定例会の開催回数	回答数	割合
1	月2回以上	45	9.8%
2	月1回程度	206	44.8%
3	年4～6回	65	14.1%
4	年1～3回	63	13.7%
5	不定期	59	12.8%
6	その他(年7～10回、コロナで開催なしなど)	22	4.8%



## 11 団体の主な活動拠点 n=460

- 「団体の集会施設」(41.3%)が最も多く、次いで「近隣の町内会等の集会施設」(20.4%)、「市の学習等供用施設」(17.8%)の順となった。
- 一方で、「活動拠点なし」という回答も5.9%あった。

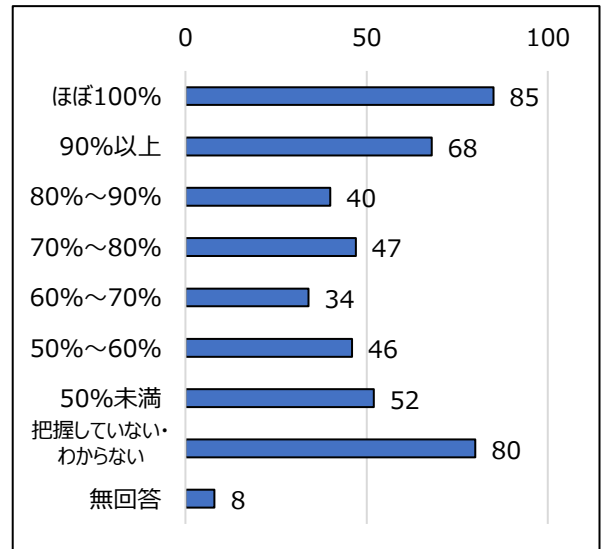
	団体の主な活動拠点	回答数	割合
1	団体の集会施設	190	41.3%
2	市の学習等供用施設	82	17.8%
3	市の公共施設	25	5.4%
4	近隣の町内会等の集会施設	94	20.4%
5	会長や会員の自宅	11	2.4%
6	民間企業が所有する会議室	5	1.1%
7	活動拠点なし	27	5.9%
8	その他(マンションの集会室、お寺、公園など)	26	5.7%



## 12 団体の加入率 n=460

- 「ほぼ 100%」の団体が 18.5%ある一方、「50%未満」の団体も 11.3%あり、加入率は団体によってばらつきが大きい。
- 「把握していない・わからない」(17.4%) という団体もある。

	団体の加入率	回答数	割合
1	ほぼ 100%	85	18.5%
2	90%以上	68	14.8%
3	80%以上 90%未満	40	8.7%
4	70%以上 80%未満	47	10.2%
5	60%以上 70%未満	34	7.4%
6	50%以上 60%未満	46	10.0%
7	50%未満	52	11.3%
8	把握していない・わからない	80	17.4%
9	無回答	8	1.7%





### 13 団体が実施している活動、事業 n=460

- 「広報配付・回覧・広報紙作成などの情報共有・発信」(92.8%) が最も多く、次いで「地域清掃」(79.3%)、「盆踊り・秋まつりなどのおまつりイベント」(65.0%) となっている。
- そのほか、半数以上の団体で「登下校時の児童見守り・交通安全活動」、「防災活動・防災訓練」、「高齢福祉活動」、「防犯・防火パトロール」が実施されている。

	団体が実施している活動、事業	回答数	割合
1	広報配付・回覧・広報紙作成などの情報共有・発信	427	92.8%
2	地域清掃（公園・河川・道路・側溝など）	365	79.3%
3	盆踊り・秋まつりなどのおまつりイベント	299	65.0%
4	登下校時の児童見守り・交通安全活動	298	64.8%
5	防災活動・防災訓練	282	61.3%
6	高齢福祉活動（敬老会、高齢者の見守りなど）	252	54.8%
7	防犯・防火（火の用心）パトロール	245	53.3%
8	災害時要援護者支援	189	41.1%
9	ラジオ体操・スポーツ大会・運動会などのスポーツイベント	160	34.8%
10	地域内のもめごとの処理	129	28.0%
11	資源物の回収	126	27.4%
12	馬之塔、棒の手など伝統文化の継承	59	12.8%
13	墓地や共有地の維持管理	39	8.5%
14	子育て支援活動（子育て支援サロン等）	38	8.3%
15	旅行・施設見学・交流会などの親睦イベント	33	7.2%
16	葬儀手伝い	30	6.5%
17	その他	44	9.6%

#### その他 団体が実施している活動、事業（抜粋）

項目	内容
イベント	ウォーキング大会、提灯山の保存、弘法様、神社のおまつり、祭礼、精霊流し など
環境	ごみステーションの管理、ごみネットの交換、どぶ掃除、蜂の巣駆除要請、緑地等の整備・修繕
防犯	防犯灯新設・取替え、防犯カメラ維持管理、防犯協会
要望	行政へのこまり事等の陳情、市・県等への要望書まとめ、近隣工事に伴う安全確保の交渉
その他	集会施設の維持管理、募金活動（赤十字、赤い羽根、社会福祉協議会）、区の活動への参加、区内の町内会への情報共有、子ども会活動、老人会活動、敬老会活動費支援、同好会への助成、体操・茶会・旅行などのサークル活動（女性中心）、香典・お祝い金、常夜灯、ため池管理、小学校行事 など

**14 区・町内会・自治会活動で特に重要だと思うこと（3つまで）**

n=460

- 「広報配付・回覧・広報紙作成などの情報共有・発信」（39.8%）が最も多く、「地域清掃（公園・河川・道路・側溝など）」（38.7%）、「防災活動・防災訓練」（24.1%）の順となった。
- 「実施している活動（質問 13）」と比較して、概ね同様の結果となったが、イベントや親睦活動の順位が比較的低くなった。

	区・町内会・自治会活動で特に重要だと思うこと	回答数	割合
1	広報配付・回覧・広報紙作成などの情報共有・発信	183	39.8%
2	地域清掃（公園・河川・道路・側溝など）	178	38.7%
3	防災活動・防災訓練	111	24.1%
4	登下校時の児童見守り・交通安全活動	98	21.3%
5	防犯・防火（火の用心）パトロール	84	18.3%
6	高齢福祉活動（敬老会、高齢者の見守りなど）	83	18.0%
7	盆踊り・秋まつりなどのおまつりイベント	83	18.0%
8	災害時要援護者支援	77	16.7%
9	地域内のもめごとの処理	25	5.4%
10	子育て支援活動（子育て支援サロン等）	22	4.8%
11	資源物の回収	19	4.1%
12	ラジオ体操・スポーツ大会・運動会などのスポーツイベント	11	2.4%
13	旅行・施設見学・交流会などの親睦イベント	9	2.0%
14	墓地や共有地の維持管理	6	1.3%
15	馬之塔、棒の手など伝統文化の継承	6	1.3%
16	葬儀手伝い	1	0.2%
17	その他	45	9.8%

**その他（区・町内会・自治会活動で特に重要だと思うこと）**

項目	内容
環境	ゴミステーションの管理・分散化、地域の環境整備、緑道の枝払い
防災	避難所運営訓練、大規模災害など有事の際の協力、災害時に支援が必要な方などの住民の把握、自主防災組織作りと運営
防犯	防犯灯の維持管理（犯罪抑止力のため街を明るくする）、地域の繋がりによる防犯効果
行政	市・県等への要望書のとりまとめ、困り事についての官公庁相手の折衝
その他	市の組織や外部団体（社協、赤十字など）と会員への橋渡し、認知症啓蒙活動、役員の負担の無い範囲で無理なくできる活動で十分、安心安全なコミュニティ活動、区内の活動紹介の場を設け、地域共有の課題（高齢化対策）について解決策をさぐる

**15 団体が町内会活動を行う上で、課題となっていること（3つまで）** n=460

○ 「役員のなり手がいない」（49.6%）が最も多く、「高齢化により活動に支障が出ている」（38.5%）、「役員の負担が大きい」（33.7%）の順となった。

	団体が町内会活動を行う上で、課題となっていること	回答数	割合
1	役員のなり手がいない	228	49.6%
2	高齢化により活動に支障が出ている	177	38.5%
3	役員の負担が大きい	155	33.7%
4	住民の関心が低い	145	31.5%
5	未加入世帯が多い	119	25.9%
6	活動への参加者が少ない	99	21.5%
7	新型コロナによる活動機会の減少	58	12.6%
8	子ども会や老人クラブがなくなった	26	5.7%
9	プライバシー保護等から活動に支障が出ている	16	3.5%
10	集会を行う場所がない	16	3.5%
11	予算が少ない	14	3.0%
12	課題はない	13	2.8%
13	他の活動団体との連携がうまくいかない	1	0.2%
14	その他	27	5.9%

**その他（団体が町内会活動を行う上で、課題となっていること）**

項目	内容
環境	・ ゴミ集積所の美化・維持・分散化
防犯	・ 防犯灯のLED化が進んでいない
集会施設	・ 集会施設が古くなり、中期建直しの計画が必要 ・ 集会施設がなく意見を出し合う機会がない
未加入・退会	・ 町内会を退会する世帯が増えている（役員になりたくないなど） ・ 新たに転入した世帯が加入しない
人材不足	・ 同じ人が役員になる事が多い、役員決めに時間がかかる ・ 体調が悪い、外国人でできないなどの理由で免除になる人がいる ・ 子どもの見守り隊のボランティアがなかなかみつからない
運営	・ 少子高齢化により活動に支障が出ている（役員選出・広報配付・会費回収など） ・ 一般会員に対するメリットが無い ・ 清掃業務等ボランティアではなく少しは報酬を出すべき ・ 大多数がマンション住民のため、つながりがない ・ 会費の支払いが遅れる、未納の世帯がある ・ 引き継ぎが悪い
その他	・ 地域社会に必須の町内会は任意加入だが、行政の行うべきことを負担していることが疑問 ・ 役所の下請けのような仕事を極力排除して町内会活動に専念できるようにしてほしい ・ 仕事をしながらの活動は大変

**16 未加入世帯に対しての加入促進活動** n=460

- 「特に何もしていない」(45.9%) が最も多く、「口頭で加入促進活動をしている」(36.3%)、「独自に作成した加入促進チラシを配付している」(15.2%) の順となった。
- 工夫して加入の呼びかけを行っている団体がある一方、加入の呼びかけをしても効果がない、転入者に町内会の必要性を感じてもらえないという声もある。

	未加入世帯に対しての加入促進活動	回答数	割合
1	特に何もしていない	211	45.9%
2	口頭で加入促進活動をしている	167	36.3%
3	独自に作成した加入促進チラシを配付している	70	15.2%
4	市で作成している加入促進チラシを配付している	59	12.8%

**その他（加入促進活動）**

加入促進活動に効果があった方法（抜粋）
昨年度チラシでの加入促進ではほぼ0件だったが、無理な負担をかけない町内会である事を説明した結果、令和4年より7世帯加入した。
転入があった一戸建世帯へは転入セット（町内会案内、ゴミ関係のセット）を配付し直接加入依頼をしている。入会金をなくした。
町内会費の使い道をわかりやすく具体的書き理解を得た。
新規転入者には声をかけて困りごとを聞く。
新規に引越した人にパンフレットを渡す。
新築入居者に独自作成の資料で加入をお願いした。（7軒中5軒加入）
以前作成した防災活動マニュアルを複写して配布し、町内会活動への理解を求め、加入の依頼をした。
環境カレンダーを配布している。
新居には近隣の声掛けと組長の訪問
新規転入世帯へは市広報、ごみカレンダー、災害マップ（2種類）住宅地図等を町内会で準備して町内会加入に関係なくお渡しするようにしている。
新築住宅、マンション、アパートなどの業者を通じて町内会加入の促進をすすめる。
マンション等は大家さんをお願いする。
新築の入居者に声かけしている。
建売、新築等で新しく入居された方に対し、速やかに町内会入会案内資料を渡し、入会案内を丁寧に行なう。タイミングを外すと入会率が悪くなる。
工夫した取り組み
子供向けのイベントの参加費を、加入世帯は無料、その他は1人300円に設定している。
全ての未加入世帯へ過去に配布した。総会資料の中へチラシを入れたり、組長を通じて新しく転居してきた方に配布している。

<p>公費（または町費）を当然のように利用しているところへの認識の甘さが脱会者を増やしていると思う。会の入会 有無ではなく義務と権利が同等となる様にゴミステーション、街灯の恩恵などはあたり前ではないですよとの意味合い にて町会居住ルールを策定中。（お願いベースで）</p>
<p>役員を回避できる協力会員の制度をつくっている。</p>
<p><b>その他意見等</b></p>
<p>戸別訪問したが、コロナ禍で苦情を言われたため縮小した。</p>
<p>はじめに「ひとこと」声をかけるのみ。</p>
<p>役員のボランティアに頼っている。</p>
<p>町内に住宅を新築、購入した方からの組長への報告・挨拶ができていない。町内会への加入の必要性を感じてい ない気がする。</p>
<p>高齢単身者は町内会活動に全く興味ない。広報を見ることも不要な方もいる。</p>
<p>活動しても効果がない。</p>
<p>地域全世帯が強制参加しなければならないルールを作る。やらず得では無くする、平等参加。</p>
<p>訪問して役員（組長）になるから入会しないとのことで拒否が多い。</p>
<p>加入されて2～3年で脱会しまうため、街灯代金をどうすればよいかわからない。</p>
<p>現役員への負担が大きく、一年の活動のみを早く終わることに精一杯の感じ。</p>
<p>現在は行っていないが、今後はやる方向で方法を模索中。</p>
<p>新しく引越してこられたらこちらからお願いに行っている。高齢者が多くなっているところへ若い人たちが入ってきてく ださいありがたい。</p>
<p>区長である私が新規入居者宅へ訪問し今期 13 軒加入した。ただ 3 軒の建売があるうち 1 軒は加入しないとい うことが多い。</p>
<p>加入のお願いに行っても忙しいなど協力をいただけない方もいる。地域の方にとっては電気料金の負担なども町内 会の会費で支払いをしていたりゴミステーションの掃除などもしていただいているので不公平感を感じる方もいる。</p>
<p>引っ越しされてきたご家庭に声をかけている。</p>
<p>建売住宅の建設の排水同意説明時に、入居者へ町内会加入を促進していただくよう御願している。</p>
<p>組によっては、組への加入をごみステーションの利用条件としているところがあるため、ごみステーション利用に関して、 できれば組の人たちとの協力を御願している。</p>
<p>新築世帯に対し、地区役員が加入を要請する。（100%加入）</p>
<p>転入時に口頭で加入促進活動をしているが、断られた場合、近隣との関係性を悪化させたくないため次年度以降 は行っていない。</p>

**17 団体内での情報共有・発信の方法（複数回答可）** n=460

- 「回覧板を使用した回覧」（95.9%）が最も多く、次いで「戸別配布」（52.8%）、「掲示板・広報板への掲示」（34.6%）の順となった。

団体内での情報共有・発信の方法		回答数	割合
1	回覧板を使用した回覧	441	95.9%
2	戸別配布	243	52.8%
3	掲示板・広報板への掲示	159	34.6%
4	電話連絡網	68	14.8%
5	SNS(LINE グループなど)の利用	58	12.6%
6	広報紙の作成	30	6.5%
7	メーリングリスト・メール	12	2.6%
8	ホームページの作成・運営	11	2.4%
9	その他（電信柱へのはり紙、町内会会報、役員のみメール及びメッセージアプリを活用、役員又は月当番による個別宅訪問 等）	7	1.5%

**18 団体内でのスマートフォンアプリ等の活用状況** n=460

- 団体内でのスマートフォンアプリ等の活用状況は、「取り入れるかはわからない」（48.3%）、「取り入れるつもりはない」（22.4%）という回答が約7割となった。
- 既に取り入れていると回答した団体では、役員間等でのLINEの利用という回答が多かった。
- 一部の団体では、LINE オープンチャットやLINE 公式アカウント、チャットワークなどのチャットツールを試験的に導入している。

団体内でのスマートフォンアプリ等の活用状況		回答数	割合
1	取り入れている	27	5.9%
	LINE、LINE グループ、LINE オープンチャット、LINE 公式アカウント、チャットワーク、ツイッター、ショートメールなど		
2	取り入れていないが、機会があれば取り入れたい	96	20.9%
3	取り入れるつもりはない	103	22.4%
4	取り入れるかはわからない	222	48.3%
5	無回答	12	2.6%



## 19 デジタル化や ICT 化に関する行政からの支援の取り組みで役立つもの（3つまで）

n=460

- 「申請書や報告書など、行政へ提出する書類の電子化」（36.1%）が最も多く、「パソコン、タブレットの購入補助など、機器の整備に対する支援」（29.3%）、「電子回覧板アプリなど、スマホを活用した仕組みの導入」（29.1%）の順となった。

	デジタル化や ICT 化に関する行政からの支援の取り組みで役立つもの	回答数	割合
1	申請書や報告書など、行政へ提出する書類の電子化	166	36.1%
2	パソコン、タブレットの購入補助など、機器の整備に対する支援	135	29.3%
3	電子回覧板アプリなど、スマホを活用した仕組みの導入	134	29.1%
4	特になし、今のままで良い	128	27.8%
5	集会施設の Wi-Fi 設備設置など、インターネット環境の整備に対する支援	117	25.4%
6	町内会長・役員を対象としたスマホ講座など、研修会の実施	93	20.2%
7	ホームページの作成や SNS の活用方法など、相談体制の充実	32	7.0%
8	無回答	11	2.4%
9	その他	43	9.3%

### その他（デジタル化や ICT 化に関する行政からの支援の取り組み）

デジタル化に関する意見
住民（特に高齢者）を対象としたスマホ講座など、研修の実施
会長・役員に限らないスマホ又はパソコンの講座・研修会の実施
実施例、成功例の紹介。それから電子回覧板アプリなど、スマホを活用した仕組みの導入へ
広報のデジタル化
広報はネットで見れるため、紙のムダ。必要としている世帯にのみ配るべき。
市・行政の web ページの充実
市で管理するクラウドを持ち、帳票などを標準化する。町内会毎に共有設定し、回覧・イベント参加募集などもクラウド上でできるようにする。毎年の引継ぎもこのクラウドを使って行う。
組数分のタブレットの貸出&ポケット Wi-Fi の補助
デジタル化に慎重な意見
デジタル化など便利でよいとは思いますが、高齢者の方も多いのでどうかと思います。
高齢化で操作することが難しい。
デジタル化は良いと思うが高齢化の為取り入れは困難。
町内会全体が高齢化しクエスチョン。
電子化すると高齢の一人暮らしの人は分からないと思う。
高齢者で若い人が参加しない為、無理不安がある。
今は役員も高齢者が多いので、ICT 化してもうまく活用できるのか分からない。
高齢者が多くなってきている中、デジタル機器等は取り扱いできない。

デジタル化が望ましいが老人世帯が多いので難しい。
パソコンやインターネットについて、高齢者など不得手の人に対してどのように活動するのかよくわからない。
高齢化で活用できない実態がある。
高齢者の為デジタル化の内容等がよくわからない。
若い人と同居している家は良いが1人暮らし2人暮らしの老人家庭には無理。
高齢化率が高くICT化に不慣れであり、現在のところ無理である。
高齢者が多く、デジタルリテラシーが低い方も多くいるのでデジタル化、ICT化はなかなか推進できないと思われる。
高齢者が多く、全ての住民が共有できると思えない。
高齢者が多く、多くの方がデジタル機器を使えません。携帯電話も基本的には電話、LINEなどでその他の機能があっても使っていないと思います。
高齢者が多く使用できる人は限られるので現行のまま。
各家庭、全世帯がパソコン・タブレットを持っているわけではない。私を含めて年寄り（高齢者）はパソコン操作が苦手、できない。各世帯の購入費用はどうするのか。（女性の一人暮らし世帯等）
町内会役員の若返りが必要。当町内会は70歳平均でスマホ持参は多数あるが使いこなしが不備（メールすら不可が多い）。
今後の世代交代次第。
デジタル化は行政の切捨て行為となる!紙ベースでポストに投入が今のところ、信頼度が高い。



## 20 行政からの町内会活動支援の取り組みとして団体の活動に役立つもの（3つまで）

n=460

- 「補助金等、申請書類や報告書類の簡素化」（36.3%）が最も多く、次いで「一般市民に対する町内会・自治会の活動内容の啓発や周知」（31.7%）、「市や関係機関からのお知らせ・回覧依頼の削減」（26.3%）の順となった。

	行政からの町内会活動支援の取り組みとして団体の活動に役立つもの	回答数	割合
1	補助金等、申請書類や報告書類の簡素化	167	36.3%
2	一般市民に対する町内会・自治会の活動内容の啓発や周知	146	31.7%
3	市や関係機関からのお知らせ・回覧依頼の削減	121	26.3%
4	活動のための助成金の増額	113	24.6%
5	活動のための補助制度の拡充	108	23.5%
6	市や関係機関が実施する会議やイベントの見直し、出席回数の削減	96	20.9%
7	特になし、今のままで良い	64	13.9%
8	他団体の活動事例の紹介	47	10.2%
9	町内会長・役員を対象とした研修会の実施	39	8.5%
10	他団体との情報交換・意見交換の場を設ける	38	8.3%
11	公共施設の優先利用や無料利用など、活動の場の支援	38	8.3%
12	行政窓口での相談体制の充実	37	8.0%
13	無回答	12	2.6%
14	その他	24	5.2%

### その他（行政からの町内会活動支援の取り組みとして団体の活動に役立つもの）

行政全般に関すること
要望書の実施率向上
報告書、申請書類の電子化
行政の縦割りの撤廃
町内会員の高齢化に伴う加入世帯減少への対策。
高齢化に対応した町内会活動の提案、紹介
赤い羽根、社会福祉協議会など、町内会への丸投げはやめてほしい。（役員の負担が増え、役員がいやで退会する人がいる。）
高齢者が増えてきていると同時に体の具合も悪くなってきている人が増えてきて次の役員を選ぶのが困難になってきている。そのため「市役所の人やれば良い」という声も出ている。
役員への助成金
行政がすべきことを町内会に頼らない。
市関係部署からの依頼・お願いがあまりにも多く、何とかならないかと思っている。
役員（特に会長）に春日井市による身分証明たとえば名刺（春日井市の市章入り）の配布を希望します。災害時要援護者支援等で面接しようとしても身分を証明する方法が無く、相手から最初不信がられた。

<p>年度始め、各部署からなのでやむを得ないかもしれないが、町内会への要請物等が多すぎる気がする。毎年度同じものは、引継ぎするので省略してほしい。（会長・組長宛小冊子は内容に変更がない限り不要である。経費節減にもなる）</p>
<p><b>広報配布に関すること</b></p>
<p>広報配布部数(世帯数)に応じた、補助金給付制度の新設。</p>
<p>広報は市が各家庭に配布する仕組みを作ってほしい。名古屋市は民間に委託している。住民税を払っているのに広報は町内に加入している人しか配布されないのはおかしいと思う。</p>
<p>広報や印刷物の配布部数や配布手間が減らせるので、「春ポケ」使用の啓発！</p>
<p>広報を電子化してほしい。希望者のみ紙面配布。</p>
<p>広報の配布が高齢になると負担になる。重さもあって・・・。</p>
<p><b>環境に関すること</b></p>
<p>高齢化の為、公園除草が大変になって来た。行政側で対応してほしい（年4回）。助成金はなくす。</p>
<p>幅広い又深い溝、河川の清掃の支援</p>
<p>公園清掃（除草作業）での除草剤の使用。市で使用可能な薬剤の検討し町内会へ周知</p>
<p>未加入の家庭のゴミ出しが町内会加入の間で不満がある。未加入で町内が管理している場所へのゴミ出し（中がばらばら）。入らなくてもゴミ出しが普通に出せるので抜けていく家庭が増えている。</p>
<p>ごみ集積所の整備（ネットは交換してもらえが、それ以外で）、看板が古くなっている。</p>
<p><b>防犯灯に関すること</b></p>
<p>町内会地域内の防犯灯補助金をなくし全額補助とすると手間がなくなり市も助かるのではないか。</p>
<p>防犯灯電気料金全額市の負担</p>
<p>防犯灯電気料の補助金増額</p>
<p><b>その他</b></p>
<p>加入世帯数の割に公民館が狭い。広い公民館が必要。</p>
<p>転入者が町内会や区への関心の薄さ、メリットがない。</p>
<p>町内集会施設の設備（エアコン等）の一部補助がほしい。</p>
<p>町内会助成金の一部でパソコンに詳しい事務員さんを雇って、書類の作成、公民館の管理をしていただき助かっている。</p>
<p>寄付金業務の廃止又は簡略化</p>
<p>余分な仕事は減らしたい。</p>
<p>町内会長以外の役職がありすぎる。（体育振興会理事、交通安全委員など）</p>
<p>町内会費は全世帯から税金として徴収し、町内会へ配布してもらいたい。</p>
<p>行政の対応とは言いませんが、まずは市民の関心が一番。全員参加（理想ですが）が基本です。現在は5割ほどしか参加していないと感じます。『全員参加の町内会』がまず取り組みと思います。</p>

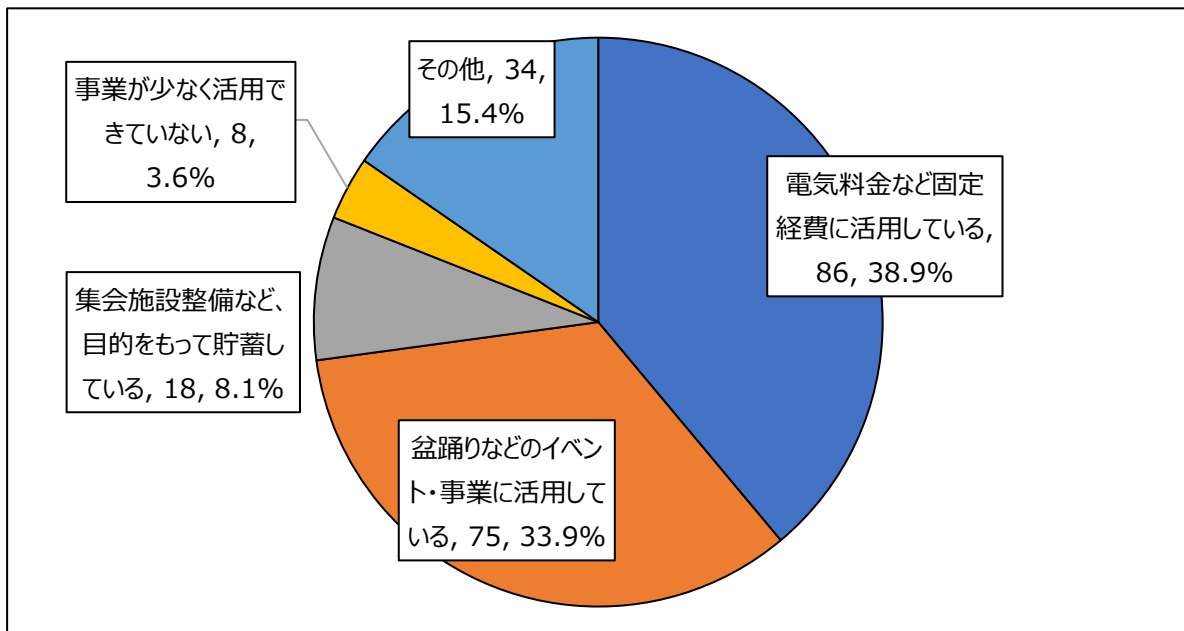
## 21 区町内会助成金の活用方法

対象：区町内会助成金を申請している団体（255 団体）

回答団体数 221 団体 回答率 86.7%

- 「電気料金など固定経費に活用している」（38.9%）が最も多く、「盆踊りなどのイベント・事業に活用している」（33.9%）、「集会施設整備など、目的をもって貯蓄している」（8.1%）の順となった。
- 「事業が少なく活用できていない」と回答した団体も8団体あった。

	団体の現在の助成金の活用方法	回答数	割合
1	電気料金など固定経費に活用している	86	38.9%
2	盆踊りなどのイベント・事業に活用している	75	33.9%
3	集会施設整備など、目的をもって貯蓄している	18	8.1%
4	事業が少なく活用できていない	8	3.6%
5	その他 特定の用途なし、連合会・区から町内会へ分配している、防災用品の購入、敬老会・お祝い金 など	34	15.4%



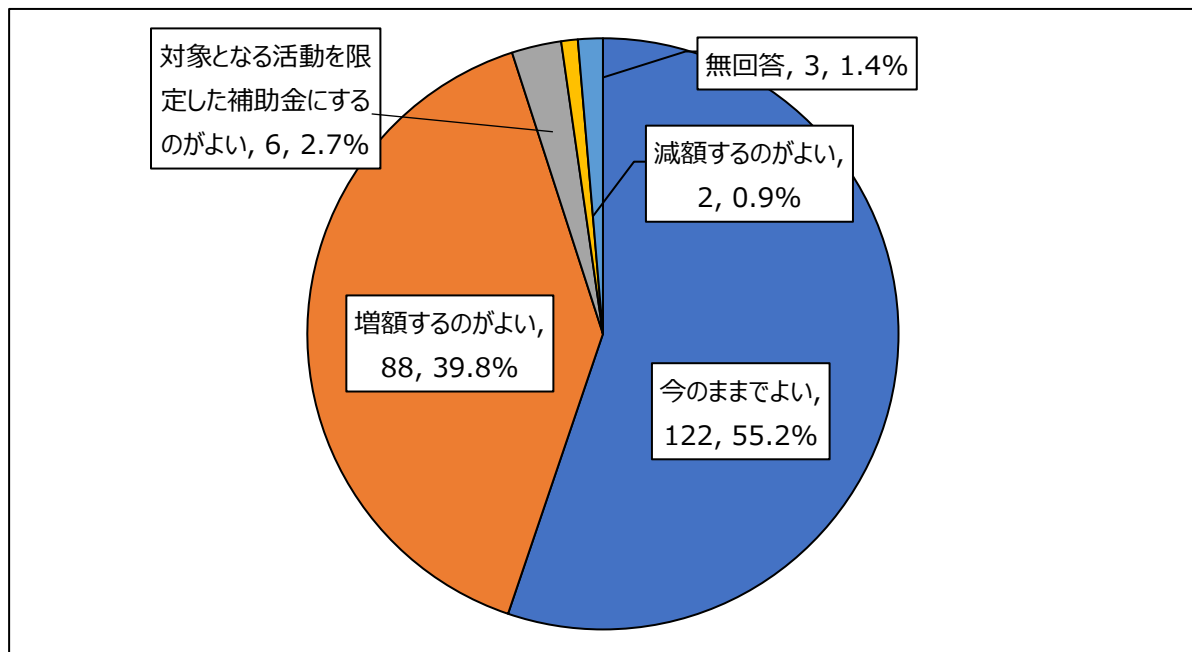
## 22 区町内会助成金について今後どのようにするのがよいか

対象：区町内会助成金を申請している団体（255 団体）

回答団体数 221 団体 回答率 86.7%

- 「今のままでよい」（55.2%）、が最も多く、次いで「増額するのがよい」（39.8%）であった。
- 「対象となる活動を限定した補助金にするのがよい」（2.7%）、「減額するのがよい」（0.9%）という回答は少ない結果となった。

	区町内会助成金について今後どのようにするのがよいか	回答数	割合
1	今のままでよい	122	55.2%
2	増額するのがよい	88	39.8%
3	減額するのがよい	2	0.9%
4	対象となる活動を限定した補助金にするのがよい	6	2.7%
5	無回答	3	1.4%



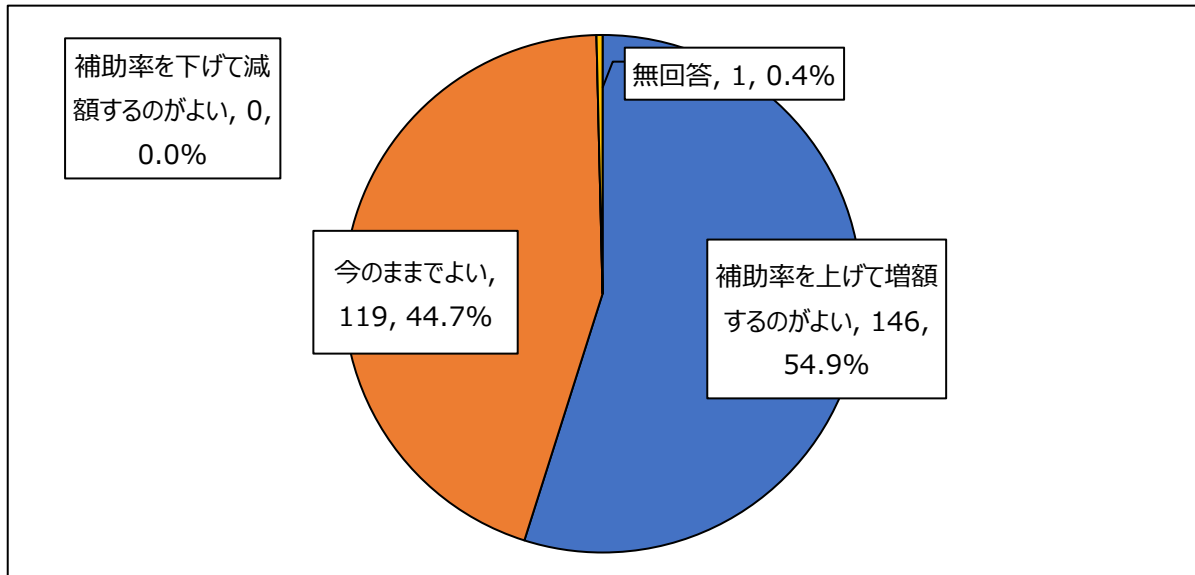
## 23 防犯灯電気料補助金について今後どのようにするのがよいか

対象：防犯灯電気料補助金を申請している団体（340 団体）

回答団体数 266 団体 回答率 78.2%

- 「補助率を上げて増額するのがよい」（54.9%）が最も多く、次いで「今のままでよい」（44.7%）であった。
- 「補助率を下げて減額するのがよい」と回答した団体はなかった。

	防犯灯電気料補助金について今後どのようにするのがよいか	回答数	割合
1	補助率を上げて増額するのがよい	146	54.9%
2	今のままでよい	119	44.7%
3	補助率を下げて減額するのがよい	0	0.0%
4	無回答	1	0.4%



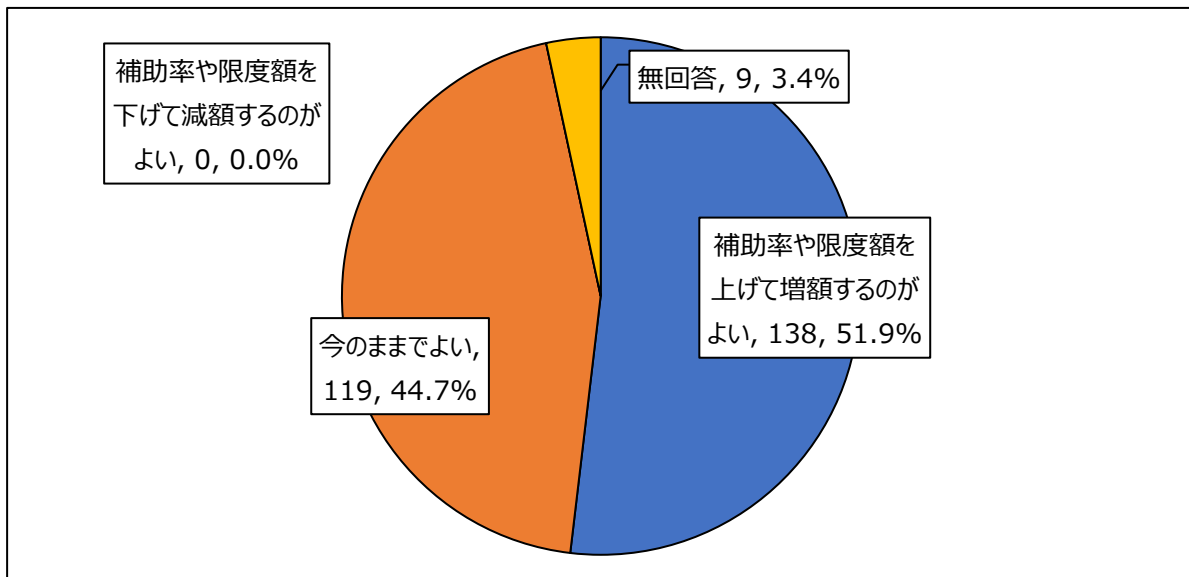
## 24 防犯灯設置事業費補助金について今後どのようにするのがよいか

対象：防犯灯電気料補助金を申請している団体（340 団体）

回答団体数 266 団体 回答率 78.2%

- 「補助率や限度額を上げて増額するのがよい」（51.9%）が最も多く、次いで「今のままでよい」（44.7%）であった。
- 「補助率を下げても減額するのがよい」と回答した団体はなかった。

	防犯灯設置事業費補助金について今後、どのようにするのがよいか	回答数	割合
1	補助率や限度額を上げて増額するのがよい	138	51.9%
2	今のままでよい	119	44.7%
3	補助率や限度額を下げて減額するのがよい	0	0.0%
4	無回答	9	3.4%



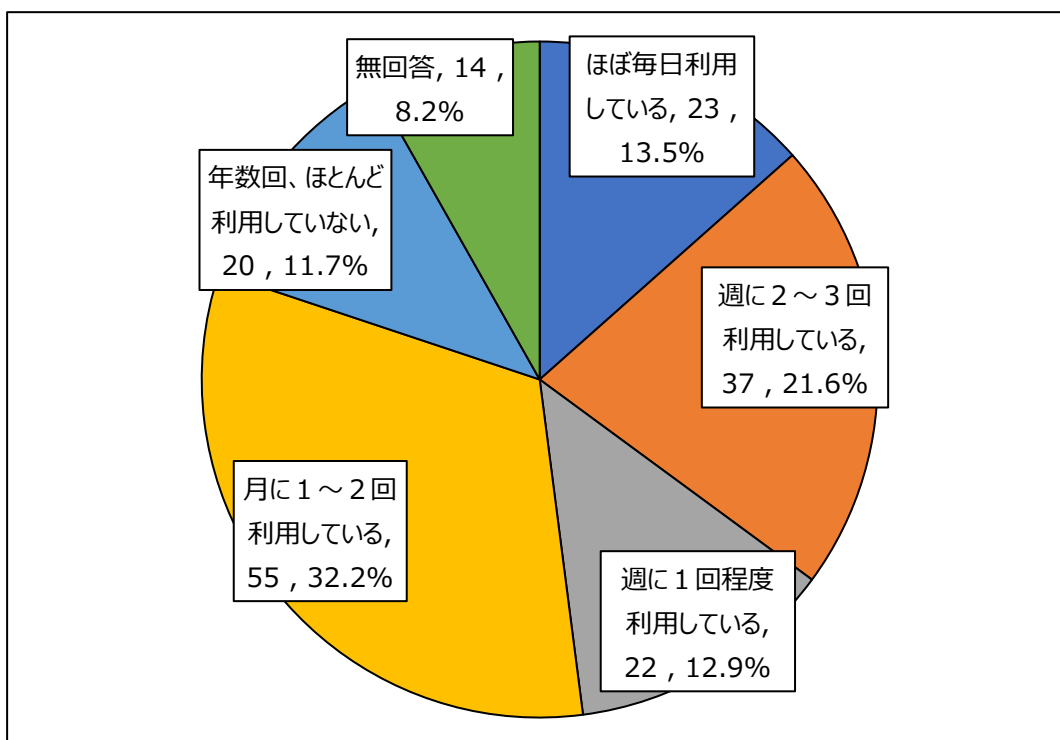
## 25 集会施設の利用頻度

対象：集会施設（学習等供用施設、ふれあいの家、老人憩いの家は除く）を維持・管理している団体  
（199 団体）

回答団体数 171 団体 回答率 85.9%

- 「月に1～2回利用している」（32.2%）が最も多く、次いで「週に2～3回利用している」（21.6%）、「ほぼ毎日利用している」（13.5%）となった。
- 「年数回、ほとんど利用していない」と回答した団体も11.7%あり、利用状況にはかなりばらつきがあることがわかる。

	集会施設の利用頻度	回答数	割合
1	ほぼ毎日利用している	23	13.5%
2	週に2～3回利用している	37	21.6%
3	週に1回程度利用している	22	12.9%
4	月に1～2回利用している	55	32.2%
5	年数回、ほとんど利用していない	20	11.7%
6	無回答	14	8.2%



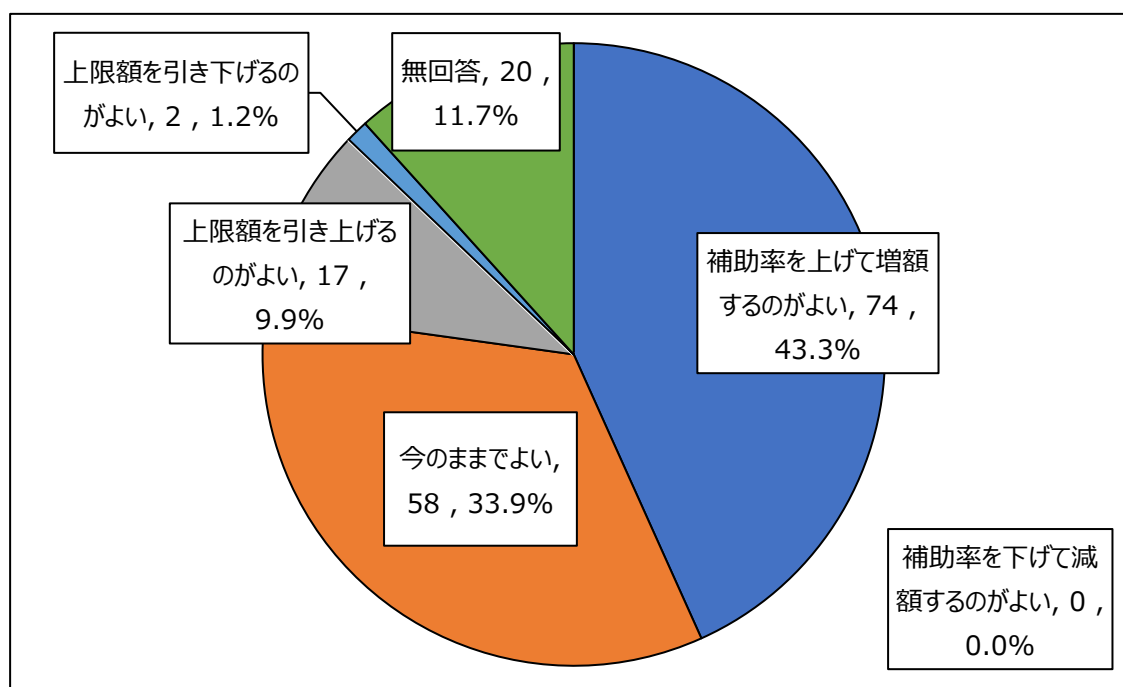
## 26 集会施設整備事業費補助金について今後どのようにするのがよいか

対象：集会施設（学習等供用施設、ふれあいの家、老人憩いの家は除く）を維持・管理している団体  
（199 団体）

回答団体数 171 団体 回答率 85.9%

- 「補助率を上げて増額するのがよい」（43.3%）が最も多く、次いで「今のままでよい」（33.9%）、「上限額を引き上げるのがよい」（9.9%）の順であった。
- 「上限額を引き下げるのがよい」（1.2%）、「補助率を下げて減額するのがよい」（0%）という回答はほぼなかった。

	集会施設整備事業費補助金について 今後どのようにするのがよいか	回答数	割合
1	補助率を上げて増額するのがよい	74	43.3%
2	今のままでよい	58	33.9%
3	上限額を引き上げるのがよい	17	9.9%
4	補助率を下げて減額するのがよい	0	0.0%
5	上限額を引き下げるのがよい	2	1.2%
6	無回答	20	11.7%





## 27 自由意見

助成金・補助金に関すること		
	年代	意見
1	70 歳代	インフラ施設の集約の観点から集会施設の解体費用の助成、補助を行うべき。
2	60 歳代	補助メニューの中に集会施設取り壊しに対する補助（補助率 1 / 2）を追加していただきたい。町内会加入戸数の減少により町内会費収入が減少してきている状況において、集会施設を老朽化で取り壊さざるを得なくなったとき、その工事費負担のため町内会は破綻することとなる。町内会費収入が減少してきている中で、集会施設の維持管理費や多額の修繕工事費は大きな負担となっている。この状況では、現役員は過去からの負の遺産を引き継いだという思いになってしまう。
3	60 歳代	集会施設の補助金について、集会に利用するだけでは利用率が低いので集会以外の活用を推進した町内会への補助を上げるといった制度でよいです。
4	60 歳代	集会所の浄化槽の改装費程度は補助して欲しい。
5	70 歳代	集会施設が新築して間がないため充分活用されていない。（宣伝不足も有るが？）集会施設としての目的が主の様で室内を有効に活用すべきスポーツ設備を整えるための補助が望まれる。（例）小規模の卓球台 2 台ほどのスペース（床補強を要する）、ヨガ等の設備 ※諸設備を整えるための助成を御願いたい。
6	70 歳代	集会施設が築 46 年となり、かなり老朽化しており、いつ崩壊しても不思議ではない。その為、令和 9 年を目指して新たな集会施設を造ろうと頑張っていますが、市からの補助金を 1 / 2 ではなく 3 / 5 の補助率にしてほしい。よろしく願います。
7	50 歳代	市からの補助金制度はとてもありがたく助かっております。今後とも継続的なご支援をお願いします。
8	60 歳代	集会所の上下水道料金が負担。上下水道料金条例改正（免責）か助成金の増額をしていただきたい。
ICT に関すること		
	年代	意見
9	40 歳代	回覧や広報などのデジタル化など進めたいが、実際高齢化が進んでおり難しい。成功例など有れば知りたい。
10	40 歳代	SNS についても身近な LINE のオープンチャットから利用できるよう、年配の方向けにも講座をさせて頂きました。アプリの活用等もっと詳しく知りたいですし、広報を配付することから、アプリでの閲覧ができるようになると役員負担が減るし、役員定数も改善できると思います。
11	30 歳代以下	紙の配布物（広報・回覧物）を極力なくしアプリや LINE 等を活用するなどデジタル化が必須。
12	70 歳代	ICT 化は無理。
13	40 歳代	たしかに、紙の資源を減らすことや、負担軽減のために、デジタル化・IT 化はメリット大きいと思います。しかし、ご高齢の方が、自分はパソコンができないから、町内会の役員とかは無理だ、と言っているのを聞いて、その部分がネックになっている人がいるというも事実です。わたしもパソコンは苦手なので、今回のこのアンケートのように、紙でもメール（パソコン）でも本人が選べるのは、助かります。なので、何でもかんでもデジタル化するのには抵抗があります。
14	60 歳代	高齢化により役員選出、広報配付等支障が出ている状況です。同じ理由でデジタル化も難しいと思います。
15	40 歳代	役員の負担を減らし、アプリを活用していきたいです。（電子回覧板等）
16	80 歳代以上	ICT 化は、一般論としてデジタル化・ICT 化は結構ですが、全町民が追従できるのか、不安がある。役員の負担軽減になる具体的な事柄がイメージ出来ない。（新たな負担発生の懸念）
17	70 歳代	ICT 化で若い人の活動参加が増えるといい。

区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

18	40 歳代	デジタル回覧板など、IT を使った町内会活動ができるようになると、時間を取られることなく、効率的に活動ができるようになると思います。回覧物の仕分け、町内会会合の準備等にかかり時間が取られてしまう。市役所への問い合わせはメールを利用させてもらいましたが、時間の制約がなく、その後の対応もスムーズでたいへん便利でした。デジタル化する事により、若い人も町内会のハードルが下がるのではないのでしょうか。
19	40 歳代	現在、役員のみ手が少なく困っている。現状、PC がないと会長職はむずかしく、そうなるとやれる人が限定されてしまう。私共も役員や組長の業務量が減るようにデジタル化を進めたいと思っているが、高齢の方が多いため、できるかどうか、今、手探りの状態。
20	50 歳代	町内会加入率の向上は見込めないことは明らかであり、ICT の活用など抜本的な見直しが必要と考えます。
21	50 歳代	町内の高齢化が進んで、町内会役員のみ手確保が難しいです。さまざまなデジタル化の推進も、なり手によって、使える使えないが出てきてしまうと思います。
22	40 歳代	回覧板などは I T 化して町内会入会者、非入会者それぞれが閲覧できるようなシステムも必要だと思う。
23	40 歳代	町内会アプリを試しに作成したが、引き継ぎでパソコンに詳しい方が来年度にいないと実現が難しい。後は高齢者のスマホ、パソコンの講習を市で行なういただき、役員負担減へ。
24	60 歳代	ネット発信及びデータ通信等のランニング費用への補助。
25	30 歳代 以下	若い世代に対する広報の電子化はいいと思うが、町内会長の殆どが引退した世代、そのことも考慮した対応が必要。
26	60 歳代	すべてにおいてオンラインシステムの拡充をお願いしたい。
27	60 歳代	当面自治会では会員の 15%以上が 80 才以上の方で活動自体が疲弊化している。その中でデジタル化、ICT 化を進めていただいても活用できる役員が少ないので十分な効果は望めないと思う。行政として高齢化に対応した講習会等を検討していただきたい。
28	60 歳代	私自身パソコンが使えないので市の方でサポートできる人がいるといい。お願いごとを頼んでも返事等連絡が来ない時がある。
29	60 歳代	ICT 化として、「きずなネット」を検討中。
30	70 歳代	組長さんは高齢者がほとんどでメールなしです。連絡が電話になる。携帯電話は持っている方が多いので SNS 等で連絡できるようにする。役員は 1 年間なので最初の時期にできるように講習会があると良いです。
31	40 歳代	町内会の運営方法や市とのやり取りがアナログ過ぎて効率が悪すぎる。高齢者が多いためやむを得ないとはいえ、今時、電話や紙媒体が主たる手段になっているのが非常に困る。クリーン大作戦のゴミ袋等、市役所等に直接出向く機会が多いのも負担である。町内会の費用負担があっても良いのでそういったものの配送、その他業務の外部委託やデジタル化などの道筋を市が付けてほしい。
32	60 歳代	市では、町内会活動の課題を把握されておられるので、その先の対処法をご指導してください。デジタル化などは、誰でも簡単に使えるパッケージとでもいうのかを作ってください利用できるようにしてください。

事例紹介・研修会に関すること

	年代	意見
33	50 歳代	町内の高齢化が進み、今後の町内活動の維持に不安を感じています。他地域も同様の課題があると思います。他地域の良い取り組み事例等を連携していただけると参考になり助かります。
34	60 歳代	当町内では現在役員は無報酬でやっている。報酬を出している町内があればどのような形でいいのか紹介してほしい。
35	70 歳代	他地区で促進活動の良い事例がありましたら教えてください。
36	60 歳代	町内会の同世帯数での情報交換 意見交換の場を設けてほしい。

広報配布に関すること		
	年代	意見
37	60 歳代	広報等は、電子化による回覧希望です。また、対応できない方への広報配布は新聞店等による一括配布希望です。
38	60 歳代	回覧物は、不定期に配布されます。4 月に回覧物（予定）の配布時期一覧を作成希望です。広報等と極力一緒に配布し、組長の負担軽減を図りたいです。
39	50 歳代	ポスターが定期的に届くが、掲示板が外にあり、せっかく掲示板に貼っても、雨風で次の日は飛んでなくなっている。掲示する意味がない。ポスター代もただでない。掲示板をアクリル板で囲うとかの対策要。市役所より回覧する書類が届くが、せめて、一週間に 1 回にしてほしい。配った次の日にちがう課から書類が届く。市役所の中で連携して、業務出来ない物か。
40	40 歳代	毎月の広報の配布、回覧板も月に 3 回は回さなければいけなく、負担です。広報をウェブでのダウンロードにするなど、少しでも負担を減らしてほしいと願います。
41	60 歳代	今年度役員より、広報を DM など扱う業者に委託して全戸配付している自治体があると聞きました。高齢化で組長の成り手が減っており、組長の負担を減らすことができると良い。
42	30 歳代 以下	春日井市の広報の配布も動ける人ならどこでも手に取れるので高齢者など希望者のみにして配布冊数を減らした方が効率的だと思います。
43	60 歳代	広報配付については、可能なら市から各家庭に郵送していただくと助かります。
44	40 歳代	広報はムダ。ネットで見れる世帯に配る必要ゼロ。スーパーやコンビニに置いて、欲しい人だけ持ち帰る。余りの量を見て、市で印刷枚数考えるべき。見ずに捨てている世帯もいる。
45	70 歳代	公園で遊ぶ子供達を拝見した事がなく、2 年前より公園を美しく広く遊べる様整備した結果、現在多くの子供さんが集まる様になりました。これからも公園中心とした活動をし、活気ある町内にしたいと思っています。各組長さんに春日井広報の配布をお願いしていますが、毎月 1 回でもいやがります。なんとか市のほうで配布できないでしょうか。
46	30 歳代 以下	回覧物も本当に必要なのか。資源の無駄になっている気がする。
47	60 歳代	町内で回覧する必要があることが出てきたとき、回覧するための文書作成を支援してほしい。役員が高齢者ばかりで言いたいことを文書化したり、インターネットで調べものをしたりすることができない。
48	50 歳代	現在、市からいただく掲示物を減らしてほしいです。（はるか・リ、ニュータウン通信など）掲示する場所がすくない。会員が少なくなって回覧を回すことが出来ないで現在は掲示することにしてあります。
加入促進に関すること		
	年代	意見
49	40 歳代	町内会活動は大事かもしれませんが、働いているものにとっては、大変です。無理に加入させるのもどうかと思います。
50	80 歳代 以上	広報は町内会からしか入手できないなら加入も理由になるが、どこでも手に入るの、又個人情報などで町内より行政で強く指導してほしい。
51	70 歳代	春日井市内に転入された方、市内転居された方に住所変更届けをされた時に町内会に入るようお話しして下さい。
52	60 歳代	役員になろうと手をあげる人がいない。役員になる事のメリットを大きくできないだろうか。
53	70 歳代	町内会加入が強制する所があると聞いていますが、当団体は任意加入です。何か強制できないものですか（法的に）？
54	40 歳代	コロナで町内会の活動があまりできていません。今後どの様になるかわかりませんが来年は出来ることを祈るばかりです。町内運動会、お祭り、子供も楽しむことが増えると若い世代の方々も町内会に加入していただけると思います。

区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

55	70 歳代	町内会会員になると、どのような利点があるのか、どのような活動しているのか、あまりよく判ってない。判りやすい資料、チラシを配布したらどうか。会費の使い道、使い方、どの様に反映されるのか等を一緒にお持ちし、また、身近な活動をお知らせしながら、会員になってもらう様話す。内容充実したアピール出来る物があつたらいいと思います。
56	70 歳代	町内会加入者を増やすために、1 加入者は市の駐車場の近い位置に駐車できるなど、インセンティブを与える。2 加入するメリット（災害時の支援）を積極的に PR する。
57	60 歳代	このまま、加入と非加入の差がないと存続が難しくなります。あまりにも行政が手を打ててない感じを受けます。助成金を上げてでも、役員のなり手を確保しないと、役員の負担が大きすぎて続けることが難しいです。年齢で高齢化が進みすぎて、若い移住者も入会もないことから、役員のなり手がありません。そもそも区費を町内会からというのは、全区民から回収すべき。
58	40 歳代	町内会へ未加入なのに、ゴミすて場は利用するとか、外灯は使用しているなど、町内会費からまかなわれたいしていることを未加入者は認識していないため全市民に必要性をアピールしてほしい。
59	50 歳代	町内会の会員が減少しているので、（高齢化、若い方のどちらも・・・）何とか町内の人たちは加入するように伝えていきたい。
60	70 歳代	加入率がドンドン減る中で、今後、町内会活動は、どうなっていくのか？大変不安です。加入しなくても何ともない（痛くも痒くもない）この現状を打破したい。強制的に入会していただく制度の確立をめざしたい。
61	60 歳代	新入会世帯への訪問時に環境カレンダーを利用しているが好評です。
62	60 歳代	新型コロナによって、区町内会の活動がかなり減少したことに加え、役員を依頼しにくくと、町内会に加入しているメリットがないといわれ脱会されるケースが増えている（1つのマンション全部のケースも）市役所も町内会という組織が必要と考えてみえるのであれば、もっと加入するメリット等をアピールする行動を早急にとってもらいたい。
63	60 歳代	当町内会の加入率 60%程度。未加入であっても町内会の恩恵が得られるため、加入促進の決め手がほしい。加入者のメリットは広報が届くことくらいと思っており、ゴミステーションか防犯灯のことは知らない。
64	80 歳代以上	未加入者への加入対応、脱退者への再加入対応等について、市からのより良い資料の配布をお願いしたい。
65	50 歳代	春日井市（当町内）へ転入して来られる方への町内会加入を市役所の担当部署でも進めていただきたい。
66	60 歳代	未加入世帯に対して町内会の活動内容の広報を特にアピールしていただきたい。特に、ゴミステーションの管理や地域の公園清掃、災害が発生した場合の町内会としての役割等について行政側が加入を積極的に促していただきたいです。 新規転居された方は、近隣の方々とはあまり関わりを持ちたくない等と思っている方がかなり多く見えます。面倒臭いと誤解されてみえる方がかなりお見えます。
67	70 歳代	加入率を上げる事につきます。行政がもっと強制力をきかせても良いと思う。皆退会になびいています。食い止めに必死です。
68	50 歳代	町内会加入のメリットをわかりやすいパンフレット等があれば未加入世帯へ配布してみたい。
69	40 歳代	高齢化が進む町内会なので、役員のなり手不足や退会が増えている現状があります。町内会の魅力や必要性のアプローチが伝えにくいと感じています。（今後の課題としています。）「市で作成している加入促進チラシ」を配付したいと思いました。
70	70 歳代	加入率を上げるための施策について町内会だけに任せただけでなく、市として何ができるかを議論する。（素案） 建築確認申請が担当課に提出され許可されるまでに建築主にパンフレット等をお願いする。
71	60 歳代	加入率が低く、加入するメリットがない。市として加入者に対し優遇措置が必要。



72	50 歳代	町内会へ入会する事へのメリットが少ない代わりに会員となり役員となった場合の負担が大きい。入会しない事のデメリットもない為あえて町内会へ入会する理由が見つからない。実際に『入らないとどうなりますか?』と質問されても特に解答が無い。児童委員、民生委員のあり方など課題も多く、世相、時代に即していない。
73	60 歳代	転入手続きの窓口で、転居してきた場合の地域活動参加は、社会生活上の義務であることを説明していただきたい。ごみステーションの利用条件として、町内会（組）への加入を求めることは、ごみステーションの維持のためには各組・正会員の活動が不可欠であり、市が実施するごみ収集作業だけで成り立たない事をしっかり説明していただきたい。
74	50 歳代	各組内に数名未加入世帯があります。町内でごみ当番を交代でしていることや回覧物もあり、少々困っているのが現状です。関わらない方々への対応も会議等で話し合ったりもしましたが結局何も変わらずです。
75	50 歳代	UR賃貸住宅に住んでいます。団地自治会としては地域のコミュニティークラブと活動をしていきたいので自治会としてはこのまま加入については加入して何かメリットがあるのかうまく説明ができない。なので高齢者の方が多くなる地域の見守りは加入している方のみ。
<b>環境に関すること</b>		
	<b>年代</b>	<b>意見</b>
76	60 歳代	市と町内会の間で「都市公園等除草・清掃地元管理委託」契約を締結しているが、高齢化の為、公園除草が負担になって来ている。これをなくして行政側で除草作業をしてほしい。（年4回）
77	60 歳代	カラス等がゴミ置場を荒らす（ネットでは限界あり）ので、公園の一部にゴミ置場を作り、金あみ等で困ってほしい。
78	60 歳代	昨年、ゴミ置場を変更してほしいと地主さんから頼まれ、1ヶ所を4ヶ所に分割して、いろいろ大変でした。この時、組長さん達に提案して、退会した全戸に、各組ごとにお願いの手紙を出して、1軒につき1000円のゴミステーションの協力金をいただくことにして、45軒の方々に集金する事が出来ました。年末にはゴミカレンダーを市より頂き配布しました。町内会が存続しなくなると、色々な不便な事も多くなるので、どうなるかと思います。
79	50 歳代	未加入者のごみ集積場使用について何とかありませんか。
80	60 歳代	町内会会員と非会員のごみ集荷場の区別
81	70 歳代	春日井市はゴミステーション方法を取っているが、ゴミステーションを個人宅の前に置くことがむずかしい。個別（自宅前）収集を考えてほしい。
82	70 歳代	町内会に所属していない、多くは賃貸マンションなどに入居されている住人の、ごみステーションの利用について問題があります。町内会に所属している住人は、広報誌や環境カレンダーなどを通じて、ごみの分別方法や収集日を知る事ができ、ルールを守っていますが町内会に所属していない住人はルール違反が多く、収集日の前日夜にごみを出す、ごみの分別もしない、台風の日にも平気でごみを出すなど迷惑な住人がいます。行政でごみステーションが未だ設置されていないマンションなどには設置を義務付ける指導をお願いしたい。
83	70 歳代	今後住民が増え、ごみの量が多くなっていくことが予想されます。今でも小さい場所に集められ、カラスが来るし、大変になると思います。管理を町内でというのは困難だと思います。玄関先に各家で置く方式を検討してもらうことになるのだらうと思います。
84	70 歳代	ごみボックスを設置したら、マナーが非常に良くなった。（カラスも来なくなった。）100%市負担で設置してほしい。
85	70 歳代	ゴミ集積所の収納ゲージを市で貸与する制度を創設し、来年度の環境美化の記念行事としてほしい。
86	80 歳代以上	ごみステーションについて。民家が近くにない、県道沿い等にあるごみステーションには常に規則外にごみを捨てられる。車からのポイ捨てもある。市民にごみの取扱いについて徹底してほしい。

区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

87	70 歳代	町内会に未加入の世帯が増加してきており、加入世帯の負担が大きい。特に、ゴミ集積場の管理。戸別収集について、是非検討してほしい。他市の社会的実験では、住民の意識が高まり、ゴミ減量につながったとか。高齢者は、集積場にゴミを持って行くのが辛いという声もある。
88	70 歳代	生ゴミ（他）回収は、夜やるとよい（九州地方で実施）。カラスが来なくてゴミを荒らさない。防犯対策になる。道路が車で混まない。空き地に建売住宅ができ、ごみ置き場が転々と変わる。町内会が苦労する。市の方で借り地を探してほしい。
89	70 歳代	「クリーン大作戦」について。町内会以外の方、広報を見ない方は参加されません。折角の市の環境行政の取り組みでは有りますが、市民、町内会だけに実施をまかせるのは如何なものかと考えます。例えば、実施日前には広報車等で呼びかけをするのもいいのではないかと思います。参加された家、参加されない家との境界線があまりにハッキリしている所が目立ちます。これでは実施の意味と効果がありません。
90	70 歳代	ゴミステーションについて。近年、鳥の被害もさる事ながら、ルールやモラルの低下がひどいです。収集日関係なく、決められた袋以外の物で出す。分別がしていない。黄色い網の上に置いていく。ボックス設置以外のマンション、アパート等は、収集日等を書いた大きなチラシを配布か、掲示の徹底を希望します。（加えて、外国人の方の為に日本語＋英語その他も必要かと。）
91	80 歳代以上	ごみステーション整備を積極的に進めてほしい。
92	50 歳代	町内会への未加入世帯が増えている中、防犯灯、ゴミステーションの維持管理について町内会が実施することに困難さを感じている。理由は未加入世帯に対する不公平感が一番大きい。防犯灯、ゴミステーションに関しては市が管理してもらいたい。ゴミステーションの場所を提供、協力してくれる世帯に対して、協力金もしくは税金の減免等、市に実施してもらいたい。
93	50 歳代	町内会への未加入者が多く、例えば公園の掃除も人数が少なく非常に負担がかかっています。また、少子高齢化により子ども会もなく、若い世帯も町内会に加入してくれません。町内会に入るメリットを明確化しなければ今後も未加入、脱会者は増えます。町内会で管理しているごみ置き場には未加入者は使用不可等の措置を市で明確にアナウンスしてほしい。
94	70 歳代	ゴミステーションについて、どこの町内でもカラス被害とごみの指定日以外のゴミ出し＆ゴミの分別間違いで困っています。少し調査・観察したところすべてではないですが最近、外国籍の住民が増えているのも一因です。日本に住む私でも迷うことがあります。ましてや日本語が完全に理解できない外国籍の人には難しいと思います。地域・宗教に分け定期的にごみの分別と出し方及び町内会についての講習会を開催したらどうですか。個人情報の関係で、どこの国籍の方が何名くらい住んでみえるか我々は全然わかりません。ほとんど町内会に未加入世帯です。新規加入につながるのか？
95	70 歳代	ゴミ集積場があふれて困っています。
96	60 歳代	ごみボックスを以前検討しましたが設置場所が側溝の上では狭くて無理との事でしたので少し小さめのごみボックスをご検討いただけるとありがたい。
97	70 歳代	春季・秋季のクリーン作戦に毎年参加しない世帯がある。町内美化や安全上、必要な範囲で市からも積極的な参加を促す方がよい。
98	70 歳代	町内会で現在懸念しているのは宅地造成時にゴミ収集場が計画的設営されていない為、4ヶ所の公園で 50 世帯から 100 世帯が利用して子ども達の公園がカラスの温床になったり、時に道路にゴミが散材したり又、カラスの飛来で危険な状況も時々発生している。市の公共の場所をゴミ収集場に加工（コンクリートで造る）していつもきれいな街づくりをお願いしたい。他の町内会で戸別収集を試験的にされている様ですが、名古屋市の様に早急に実現をお願いしたい。
99	60 歳代	ごみステーションを設置する場所を行政で確保して欲しい。
<b>防犯灯・防犯カメラに関すること</b>		
	<b>年代</b>	<b>意見</b>
100	60 歳代	防犯灯の町内会管理はむり。防犯灯トラブルを町内会未加入の市民が言うてくる。（市役所からまわってくる。）

101	70 歳代	防犯カメラの設置をしてほしい。
102	80 歳代 以上	防犯カメラの電気料金の助成をお願いしたい。
103	50 歳代	防犯灯ランプの LED 化が進んでいないため、設置補助金はずっと続けてほしいです。
104	50 歳代	時代の流れとともに、変えていけることは変えていって・・・変わってほしいと思います。街灯は税金でまかなってください。街灯に照らされない人はいません。春日井市に愛着はありますし、市役所の方（市長さんも）に感謝もしています。ただ、町内会はもう古いと思います。
105	70 歳代	諸般の理由により多くの地域で区町内会が衰退し、消滅するのは今や時代の必然との危惧を持っています。加入者と非加入者の経済的負担など不平等感も高まっています。国や行政が今後もコミュニティを必要とするならコミュニティ税などの課税を検討すべきです。防犯灯の設置維持管理は行政に移管すべきとも思います。
106	60 歳代	防犯灯の所有者が町内会ではおかしいのでは。町内会加入者だけが利用しているわけではなく一般市民全員です。その電気代が町内会が半分会費から歳出する負担をさせる事はみなおすべきです。任意団体へ市民サービス費用を負担させる事はおかしい。見直して下さい。市が所有・管理すべきである。
107	60 歳代	防犯灯の電気料を全額市で持ってもらいたい。
108	70 歳代	防犯灯の設置や管理は町内会がやるべきことではないと思います。行政の方でやってもらいたい。
<b>行政への提案等に関すること</b>		
	<b>年代</b>	<b>意見</b>
109	60 歳代	集中浄化槽を使用しているが 50 年が経過し、個別浄化槽への変更を推進しているが費用面で進まない。
110	40 歳代	「町内会加入のメリットって何」との質問には、「広報などの周知」「ごみステーション・防犯灯の管理」などと答えていますが、メリットとして感じてもらえません。特に若い世代に、小・中学校の生徒に対し、教育という観点で、町内会などの「地域の支え」の大切さを学ばせて欲しいと思います。
111	70 歳代	新規加入者が少ない為、市で住民票受付時に町内会加入を推進してほしい
112	50 歳代	役員のなり手が減っている。考えられる理由として、共働きの増加、高齢者減と高齢まで働く、町内に商店が少なく元気な店主が少ない。 町内会を春日井市の税金を上げて担当職員を一人つけるのはどうでしょうか？（地域の主婦など）
113	40 歳代	各町内会がやるべき事と市がやるべき事の区別が曖昧です。町内会へ頼む前に市で確認して欲しいことも多々あります。特にポスター貼りなどは市の公園へ貼り付けするのであれば市で行えば良いと思います。二度手間三度手間は極力削減しましょう。
114	30 歳代 以下	毎週のように集まり、家庭の負担となっている。これでは現役世代はやりたがらない。やめていく（特に子育て真っ最中の家庭）。長年続けて大事にしてきた町内の仕事について若い人が意見したり変えていくのは難しいので市より町内の方に積極的に提案してもらいたい。
115	60 歳代	一般市民が市の職員とまちがえている（公園管理のクレーム、防犯灯のクレーム、ゴミ収集について）半年に数回あった。市が一般市民の意見を聞くところが少ないのでは？
116	50 歳代	町内会の必要性をわかりやすく周知して関心を高めるのに市のホームページ等ですぐわかるようにしたらいいと思います。自分の番になって色んな活動をしていることがはじめてわかったので。
117	回答なし	住民の出入りが頻繁になっている現在、なかなか町内活動に参加していただける人数が減ってきている。その中で、なるべくたくさんの人々に参加していただけるようそれぞれが計画しなければなりません、市の方でも、なにか提案（取り組み）をしていただけるとありがたいです。
118	60 歳代	用水の清掃を農家以外の他に依頼する（協力を求める）事は筋が通らない。今や農家も少ない。行政側で対策を講じて頂きたい。旧農家の高齢者で実施を継続するば事故につながります。
119	40 歳代	子供会を新規で作ろうとすると、その手間のわりに助成金が少ない。

区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

120	40 歳代	行政（市）として町内会に求める内容があまり理解できない。行政＝町内会（ニアイコール）と思っていたが、思っていたほど手助けしてくれないと感じている。行政は町内会があった方が良いのか教えてほしい。また、縦割りを修正してほしい。
121	70 歳代	洪水対策として、避難タワーを設置し、逃げ遅れた住民の救済対策としてほしい。
122	60 歳代	空き家対策（空き家の樹木等が近隣通行の妨げになっている） 対処方法は？
123	40 歳代	今年度、会長をして思ったのが、平日に市の研修があったかと思えば休日にも市の講習があったりと、町内会長は無職でないと不可能では？と思うことが少なからずありました。高齢化も進み、昔のように60歳で退職ではない現在、会長だから高齢者ということが少なくなってきました。もう少し変化が必要と思います。
124	50 歳代	色々な事に、十分審議を尽くした上でのアップデートが必要と思います。
125	70 歳代	敬老会事業について、世帯数に応じて補助金を受領しているが、100世帯以下の補助金と100～300世帯区分の補助金を比べた場合、単位世帯の単価に差が生じていると考える。改善を願いたい。
126	70 歳代	道路の舗装等や公園の設備修理など、申請したあと、いつやるのか？とか、いついつ完了したとか連絡が欲しい。知らない間にすんでいる事が多い。有難いのですが。
127	70 歳代	春日井市職員の方々への加入促進活動はされているのでしょうか？
128	80 歳代以上	高齢化が進んでおり、区長等役員の選定が難しくなっている。町内業務、助成金等はサインのみですむよう簡素化が必要。
129	60 歳代	公園があるのに、人が集まらない、ボール遊びが禁止、火が使えない。申請制、料金制で公園をもっと利用でき、人が集まれるように、有効利用してほしい。草刈りだけするのは、、、
130	60 歳代	子ども会がなくなり、子ども達が地域との関わりがなくなってしまいます。重要課題とし、部、課を超えての検討願います。
131	80 歳代以上	増加している高齢者世帯への対応の効果的な方法を教示してほしい。
132	50 歳代	春見町のささえ愛センターにあるパソコン、印刷作業ができる施設を増やしていただきたい。（例：総合福祉センター内）
133	60 歳代	市民活動支援センター内に市民活動推進課の出張所を設ける（日曜日でも相談出来る様になる）
134	60 歳代	公園の委託管理をやってきましたが、役員6人での除草、清掃が困難となりました。本年度はどうにかやってこれましたが、役員の高齢化もあり、来年度は市の方へお返ししようと話し合いで決定しております。連合区と連名で書類を提出しますのでよろしく願います。
135	60 歳代	今般、町内会に新規加入される方よりも退会される方が多くなってきています。年齢的に行動できない、子どもが町内会へ入りたがらない（世代交代ができない）核家族化で新家の子どもが入らない。若い人の無関心が気になります。今はコロナの影響で町内活動の制限が少し残っていますが、子ども会とともに町内行事を行い、人間関係を密にして気楽に町内行事等を一緒にできるようにしていきたい。ついては、市からの援助がもっとあれば幸いです。
136	60 歳代	自治会の活動を通じ、活動の必要性等を訴えることは当然であるが、行政として自治会活動の参加の必要性を広報してもらいたい。例として表彰制度の新設、広報紙による積極的な広報等。
137	60 歳代	夏場の公園の掃除ですが、7月の参加者4名程でした。熱中症の（朝早くても）危険もあるし、参加者も本当に少ないので、控えた方が（夏7、8月）（冬1、2月）など、季節の気温を考えてほしいと思いました。いつも参加者が本当に少ないので、市から委託して掃除をする事も検討した方が良いのではないかと思います。
138	60 歳代	今年は雨が多くて公園の草が伸び放題で役員・区民の手だけでは追いつかない状況であり、市に返したいとも考えています。土の入れ替えなど良い方法はないでしょうか。
139	60 歳代	防犯灯が切れて交換する時の補助金の申請には日にちが15日以上とかかりすぎており、交換がすぐにできないので早く承認されるよう依頼します。



140	70 歳代	災害に強いまちづくりを考えたい。
141	40 歳代	今年度、町内にある公園の木の剪定を春日井市に依頼したが、依頼をしたことをしっかりと対応していただけなかった。住民への連絡等もできないまま、剪定作業をされた。また、どのように決定をされたかなど説明もないのは困る。
142	60 歳代	町内会からの行政要望（道路補修、河川管理、交通安全対策、緑地などの草刈り等）に早急な対応をお願いします（要望実現までにかかなりの時間を要するケースが多い）。
143	60 歳代	高齢化によりコミュニティーバスの延長が必要
144	60 歳代	賃貸の団地なので入れ替わりもあり、UR が積極的に入会をすすめてくれないので困っています。市から何か言ってもらえるとありがたい。
145	60 歳代	町内会活動の必要性等を広報等で常に発信してほしい。
146	60 歳代	春日井市はアンケート大好きですが、もっと生の声を聞く場を設けて下さい。アンケートでは民意を理解することには限界があります。市民会議などで聞くべきではないですか。失礼ですが古株の町内代表者だけの意見では不足していますし、新しい取り組みは期待できないと思います。町内会長サミットを年 1 回開催してはどうですか？市と町内あるいは市民との相互コミュニケーションが不足しています。市からの HP、ラインの一方通行です。積極的に町内全てを活用して、市民一人一人への発信と意見の吸い上げを行って下さい。
147	60 歳代	行政権のない任意団体の町内会が行政のすべきことを代行している業務があり、矛盾を感じる。町内会への助成金や経費負担の補助ではなく、市が直接行うか、代行部分は市職員待遇で扱って欲しい。
148	70 歳代	会長をお引き受けした 5 月頃、この町内の現実に何か良い知恵があればいいと市にお問い合わせしましたが、「どこの町内でも同じ様な状況です。何とか町内の皆さんで協力してほしいです」との回答でした。町内活動を外注に出すことも考え始めてますが、市民税を納めているのにそこまでして・・・何かおかしいとも思っている今頃です。法的には住民に強制できないはずなのに・・・。
149	50 歳代	自治会という組織が成り立つ「最低限の活動及びマニュアル」を行政からわかりやすく示してほしい。最低限の活動量がわかれば、その量なら役員をしても良いと思う人が増えるかもしれない。更に活動ができる自治会はすれば良い。絶対にしなければならないことがハッキリと、わかるような一覧表などが欲しい。
150	50 歳代	春日井市役所職員が町内会行事への参加を拒否している。示しがないので、役所内での教育が必要では。
151	60 歳代	町内住民の高齢化が進んだことにより、地域清掃に参加できる人が減少している。特に道路側溝の整備等（市から委託を含む）の重労働を伴う作業に従事できる人の減少は著しい。このような作業は市民にゆだねるのではなく、行政が積極的に取り組んで欲しい。（業者に委託するなどして）
152	60 歳代	市への相談に対して「出来ないものは出来ない」の対応でなく、何か方法がないか 一緒に考える姿勢がほしい。
153	60 歳代	それぞれの町内会で親睦の行事を続けていけるように援助してください。物心両面をお願いします。
<b>不公平感に関すること</b>		
	<b>年代</b>	<b>意見</b>
154	60 歳代	高齢者の多い組とそうでない組の差が激しい為、役員頻度年数に差がありすぎて、不公平感を感じる。このままでは脱退者が加速すると思う。
155	70 歳代	高齢者世帯の町内会離脱増加・・・役員になるのが嫌。町内会の役員になると区の役員も兼務となり町内会離脱。子育て世帯は夫婦共働き世帯がほとんどで休日や土日の役員会議やイベントに駆け出されて休日に静養できない。家族でお出かけできない等であり手が少ない。高齢者は体力、知力に衰えを感じ会合やイベントで活躍する自信がなくなり脱会が増加、老後の残り少ない自分の人生を自分の時間を大事にしたいと言われます。また、町内会費等が負担。町内に入らなくても住民サービスは

		平等に享受できる。災害時でも官のサービスは平等である。ゴミ出しも町内に入っていないなくても出せるから必要ないと言われます。
156	30 歳代 以下	防犯灯は、町内会に加入していない世帯も恩恵を受けているのに、半分は町内会費から出すのはおかしいという声もあがっています。 町内会長となって半年経ちましたが、子育て世帯として、とても大変だと感じています。これでも夏祭りや秋祭りが無かったので、もしこれらの行事も開催されていたらと思うと本当に大変だったなと思います。町内によっては、子育て世帯は班長はやるが、役員は免除されて、現役で退いてから役員をしてくださというシステムもあると聞いたことがあるので、そういう体制を取ってもらえるとありがたいなと感じました。正直、町内会に入っていない人も多い中、入っている恩恵もよくわからず、こんな大変な役員が回ってくるのであれば、やめたいなとこちらも思うし、そう思っやめられる方がいるのも納得します。例えば、現役世帯ではない方（せめて子育て世帯を除く）が、町内会費からでも相応の報酬を受けとって、仕事として行うようにしたりはできないのかなと思います。町内会として予算が必要であれば市税に近い形で会費を徴収して、全員で負担するべきです。ゴミステーションや街灯など全員恩恵を受けているはず
157	60 歳代	町内会に加入されない方が増えている。公平性の観点（一部の者が負担している）に欠ける行政側から未加入者に対し、指導をお願いしたい。
158	40 歳代	防犯灯の管理を市へ移管できないでしょうか？町内会加入率が低いと電気代の負担が大きくなるのと、住民全員に防犯灯の恩恵があるのに町内会に加入している住民の会費で負担するのはおかしいと思う。
159	60 歳代	地域内の防犯灯管理を地域世帯 15%～20%の町内会で行っているが、電灯費の負担まで数少ない世帯ではおかしい。
160	60 歳代	町内会への加入について、出来るだけ市より強制に近い指導をお願いしたい。防犯灯の使用料、ゴミステーションの管理等、会員と未加入の方との不公平是正が望ましい。
161	80 歳代 以上	非加入世帯は今後増加する見込みで、廃止するのが公平である。また、ゴミ集積所のトラブルは日常的にあり、ごく一部の会員世帯が負担しており、非加入者、アパート等の住人と不公平になっている。
162	70 歳代	町内会費に含まれている街灯費も各町内で不満も出ています。会以外の方も街灯の恩恵を受けているはずだとの声も。
163	60 歳代	新しく新居を構えられた方も入会されなかったり、今まで入っていた方も退会されたりし、町内会の会員も減る傾向。入会していない方は防犯灯代も支払うことはない。役員にもならないので、公園掃除、パトロール、児童の通学見守り、グリーン作戦時の川清掃、広報配り他何もせず。そのため、不公平感が否めず、役員をしたのち退会する人もいる。この度、町内会長になり仕事の多さを痛感している。初めて知ることも多く、ためにもなったと思うが負担は大きい。入会は任意なので大変難しい問題で解決の糸口も見えない状態。7人の組長の間でも何回も話題となっているが、結局どうしようもないのが現状。協力金として未加入の方から徴収するという方法もあるが、金額の設定や集金の方法（回覧も回らないので全戸に事前にチラシを入れるなど大変な手間）を考えると前例もないことから困難なことが多すぎて断念してしまう。
164	40 歳代	町内会役員（特に会長、副会長、会計）への負担は大きい。市が管理すべき防犯灯、公園、ゴミステーションなどについては町内会長が連絡をして対応するのは仕方ないとしても市側もしっかりと対応をとれるようにしてほしい。
165	50 歳代	古い人が減って新しい人が入ると町内会員が減る。（その兆候は始まっている）町内会費は目減りし助成金も減るが防犯灯料金は変わらない。町内会に入っている人から「不公平だ」との声あり。過去から継続しているので今年も公園除草作業の契約をしたが、これも「不公平」感があり、市でやっていただきたい。実際に町内会ではやっていないところもあると聞いている。

負担軽減に関すること		
	年代	意見
166	40 歳代	仕事、生活で忙しい中、活動はものすごく負担です。地域の祭りの前は、毎週ほぼ 4 時間の役員会で家庭との両立はかなり大変でした。役員の仕事量の多さが、役員のなり手を減らしています。やりたくない人が多いです。
167	40 歳代	町内会長の仕事が多い為、負担が大きい（配布物、回覧、町内行事、清掃、役員会など）
168	50 歳代	ほぼ全ての連絡、配布の窓口が町内会長となっているため、町内会長の負担が大きい。各担当に直接連絡し分散することも考えていただかないと、今後益々なり手がなくなる。 春日井市役所職員が町内会行事への参加を拒否している。示しがないので、役所内での教育が必要では。
169	60 歳代	個人・団体ポスターが多すぎる（申し込み～開催までの期間が長いポスターと重なる）。
170	40 歳代	町内会活動のシンプル化。
171	40 歳代	町内会に任せている仕事を、ある程度市で管理できるようにしてほしい。役員の仕事がまわってくるのが嫌で、町内会に入らない人が多いです。今のままでは、加入数の減少は止まらず、町内会の維持は難しいと思われます。
172	50 歳代	市民全体への町内会意義の説明。町内会へのマンパワー的な負担軽減。以上すべての速やかな対応。既に役員のみなり手や加入数の減少により町内会自体の存続が危ういです。
173	40 歳代	共働きの世帯が入りやすい環境を作る。役員負担が大きい為、町内会外部事務員を検討したが予算的に厳しかった。会計以外の業務を外部事務員へ委託し、役員負担大幅に減らしたい。町内会会長の業務が多くてつらいです。仕事と家庭、子育て全てやりながら睡眠時間を削って行っています。きついです。お金は年間一万円程度町内会からいただけるそうですが、町内会業務の電話代にもなりません。休日出勤手当も残業代も会長にはつきません。睡眠時間を削っている為、体調を崩しても何も補償されません。睡眠不足や、町内会業務が多すぎて仕事の評価が下がっても補償されません。つらいです。
174	30 歳代以下	ボランティアでの活動が多すぎるため、町内会に入る人は減っていく一方だと思う。実際にやってみて、ほぼ土日が潰れる印象。仕事と並行してやるのは一年が限度。活動の簡素化を早急に進めないと衰退する一方。また、町内会に入るメリットがない。
175	50 歳代	負担の軽減。
176	70 歳代	役員のみなり手がない現状では特に区長の仕事量を削減しないとなり手がなくなる。とりわけ区長は現役世代では市、関係機関、他団体等の話し合いが多く定年後の人しか無理である。定年制が伸びる現状では、なり手が高齢化しなり手が今以上にいなくなると思われ、区の存続が危惧される。区長の仕事量を削減する意味からも年度初めの提出書類、行事での提出書類等を簡素化し、負担を軽減してほしい。
団体の運営に関すること、その他		
	年代	意見
177	40 歳代	コロナが流行って、イベントや活動に迷うことが多い。町内で決めるよう協議会で言われても、会長未経験であったので判断に迷うことが多かった。高齢で町内のことをよく分かっている方は組長免除となっていて次世代の世帯が組長をやっている分からないことが多く困る。私たちもだが秋祭りを今回中止したが、来年は行う、となるとみこしの組み方など分かる人が少なくて困ると思った。
178	50 歳代	コロナの影響もあり、活動の自粛を余儀なくされ、コミュニティが不足したことは残念に思う。今後、その状況に慣れ、活動することが消極的になることが懸念される。

179	70 歳代	現状では町内会組織への加入世帯の増加は見込めない。町内会組織が高齢化し、役員を引き受け手にも困窮している。世帯員が高齢化し、町内会活動も沈滞傾向にある。したがって魅力の乏しい町内会活動への不満もあり、退会世帯が増加傾向にある。こうした悪循環が続くと、町内会組織の維持継続が困難となる。町内会組織が消滅の憂き目にさらされる。町内会組織がなくなれば、防犯灯や防犯カメラの維持管理、公民館や学習等供用施設の維持管理、ごみステーションの維持管理などができなくなる。行政はさらに大きな負担を背負うこととなる。これを解決するには、潤沢な活動資金の確保と強力なリーダーシップの存在が必要である。さらにこれを継続して確保できる組織作りが必要となる。町内会費の確保の一環として、建築指導課が指導する確認申請の際の町内会への加入推奨は大きな効果がある。これを市民活動推進課と協力して、もっと強力に進めるべきである。強力なリーダーは、市民活動推進課がリーダー研修会を開催して育成すべきである。そして、町内の垣根を越えてリーダー不足の地域への応援派遣も必要。
180	70 歳代	コロナで色々なことが難しくなった。今後は元にもどるかな。
181	60 歳代	高齢化で活動が難しくなっている。
182	50 歳代	高齢世帯が多くなり、役員の担い手が減少の一途です。必要最小限の行事にしていけないと身が持ちません。地域振興のためと理解していますが、もう少し簡素化できなでしょうか。若い世帯の未加入が多くなりました。
183	60 歳代	高齢者世帯が多く、近い将来役員のなり手がなくなる。マンション等、集合住宅の住人の加入が進まない。
184	60 歳代	高齢化が進み、新しい転入者も多い。今までの同じ事業内容、現状維持では将来は縮小です。町内会に入ってよかったと思う事業内容、役員を務めてよかったと思える変更が必要です。今までの役員から大きな反発が予想されますが、現在の事業項目の見直しが必要と思います。例) 夏祭り、敬老会等は町内会は補助金のみで事業は有志で行う。役員に負担のかからない仕組みの変更が必要。仕事を行っていても子育てしていても役員ができる環境が必要。役員研修会を町内会が消滅した町内はどこに問題があったか、活発な活動を行っている町内のポイントはという内容で行ってほしいです。
185	70 歳代	高齢化が進んでいる。(活動メンバーの平均年齢は73歳) 町内会で活動しているのは、ほとんどが親で子供はほとんどが無関心。回覧板や広報を配付するだけでもつらい人もいる。(歩行困難で) 脱会したいという人が多く対応に苦慮している。
186	70 歳代	働く年齢が上がっており、役員のなり手が少なくなっている。現役でも区長や町内会長が出来るような仕組みにしてほしい。
187	30 歳代 以下	町内の高齢化が進み、様々な活動に支障が出ている。役員の成り手も少なく、当番のまわりがはやい。新しく加入する人が多い地区ではない(空き)ので、今後どんどん負担が増えていくように思う。
188	40 歳代	高齢世帯が多いので、若者世帯の負担が増えている。今後、組長の当番が回ってくるのが早いなら、退会を考える世帯も増えると思う。
189	60 歳代	高齢化に伴い加入世帯数が減少している。本町内会も加入世帯の世帯主の年齢が60歳以上が3/4である。10年後を考えると町内会の存続が難しいと思われる。町内会のあり方、意義を考えなおす時期にきていると思う。
190	70 歳代	高年齢層が多くなり役員の負担が大きい。
191	70 歳代	自治会の高齢化がすみ活動が困難
192	70 歳代	高齢者が多くなり、役が回ってきても判断に困ることが多い。ある程度の年齢が来たら免除してほしい。家庭の事情で介護者がいたりすると役が回ってきたら負担に感じます。
193	70 歳代	高齢者が多く活動しづらい。
194	50 歳代	高齢化が著しく進み、町内会での当番等に当てることができず、その結果その他の世帯に負担が大きくなっている。
195	60 歳代	町内会の高齢化により役員をやる人が少なくなってきた。PC等での仕事が多く、PCの使用できないものについては苦痛でしかない。町内会を抜けてでも役員はやりたくない。

196	80歳代以上	年々高齢化が進み役員になる人が減る。活動ができない人が今後も増える。
197	40歳代	当会でも高齢化が進み、身体の不自由や認知症などの方が増えてきており、会長職を受けていただけるか？という問題があります。その上で、ネットやアプリを使用するようになれば、尚更できない方が増えます。若年層には使いやすいので、取り入れる事自体賛成ですが、高齢者にも分かりやすいよう、従来の紙ベースや郵送等のやり方でも対応して頂きたいです。回覧板のアプリ等は、高齢者が多いため、取り入れる予定はありません。役員会・定例会等、集まれる場所がなく、開催するかも含めて検討中。
198	70歳代	当町内会は51、53年に入居した分譲戸建団地ですので、世帯者年齢も80代？超高齢化で、役員の活動にも赤信号がとまります。（深刻です）。まとまるのも早いが、こわれるのも早いと感じます。（全世帯124戸）「役が回ってくるから、子供のところへ引越したい」という人もあります。今までどりの行事を行うことは不可能で、役員の減少、諸行事の省力化を検討しているも、中々むずかしく、前に進めない。ここ数年、町内会役員のなやみは続くと思うが、解決策はみあたらない。後、5-10年、世代交代までは？他の町内会で同じ悩みをもつところや、解決方法、取組み等前向きな行動がありましたら、ご教授ください。
199	70歳代	当町内会は高齢者が多く、ほとんど80歳以上になっています。正・副会長、班長は順番なのでお引き受けしました。副会長宅では要介護者の夫との二人暮らしです。「他の方に変ってもらいましょうか？」と尋ねましたら、「他の方々も同じ様な家ばかりなので迷惑をおかけするのでやります」との事でした。私は72歳ですが、まだ仕事をしていますのでPCで回覧文書など作成できますが、（母も施設に入居しています）ワードやエクセルなどの使用はできない人が殆どです。先日もう「集水ます」の掃除をしようとした人が「ます」についている金属製の重いフタをあげる際、腰を痛めてしまい、「もうできません」と話されました。
200	40歳代	高齢化が進み運営に支障が出始めている。近い将来立ち行かなくなることは確実だが意見がまとまらず具体的な行動ができない。無給のボランティアでできる範疇を超えており、行事の削減縮小や手当等の支給を提案しても話がまとまらない。共働き等現役世代への負担が重く高齢者と現役世代の世代間断絶が今後一層進むのは確実。私自身は町内会活動に見切りをつけて任期終了後の脱退も選択肢の一つとして考えている。
201	60歳代	少数団体には合併も考えるべきだと思います。
202	60歳代	現在当町内は区画整理中で住民の移転に伴い建物の取り壊し（住民の減少）で町内会の活動にも支障が出ている現実です。
203	60歳代	高齢化が進み、あと10年もしたら町内会の存続があやぶまれます。今年から時に打合せがない月は、町内会長の私が、各組長宅へ広報と回覧の用紙を持っていきます。ただし、草とり年4～5回集まる時渡したりしてます。秋は、お祭り・運動会等行事も多く、打合せで集まります。又、神社の役員さんも行事が多く役員のなり手があまりないのです。役員は区の行事だけにしてほしいです。
204	60歳代	10年ぐらい前から、町内会費、赤十字、社会福祉等4月に一括集金して、領収書はそのつど、広報と一緒に配布しています。少しでも組長さんの負担を軽くしたい考えからです。
205	70歳代	加入率が低いので町内会計が苦しいです！！
206	50歳代	箱を作るのではなく、危機感を持って出来ることから取り組んでいくのが良いと思いますし、そういうことに対して行政のバックアップがあると良い気がします。 義務に権利が両立することで町内会への入会の有無の問題は、そもそも無いことだと考えております。抜けた者勝ち的な流れを止めるのではなく新たなフィールドを用意の方が最良だと。
207	80歳代以上	町内会長を引き受けましたが一度受けたら3年やらなければいけないと後で知り呆然となりました。その様なことを初めに言えば誰も承知するわけないといい成程と思いました。30年前に受けた時とは労力も全く違いはるかに現在の方が多く感じています。役員のなり手がいませんし、ちなみに私83歳です。
208	60歳代	小中学校への補助金の削減（町内会会員以外の負担は見直す必要がある）

209	60 歳代	赤十字、赤い羽根等共同募金の回収を町内会会員のみ強制的に行う事は廃止すべき。何故町内会がとりまとめるのか異常行動である。又、金額の設定もおかしい。本来募金は善意の物である。
210	70 歳代	町内会運営の透明化、民主化。男性有力者中心（組織、決定機関、会計）の見直し、若い人、女性が参加しやすい体制づくり。パワハラ、セクハラへの認識改善。町内活動と宗教のかかわり方の見直し。形式重視の改善（補助金申請 etc）。グリーン作戦の見直し。配布物のあり方が本来の役割を果たしてなく無駄になっている。 町内会費の支払い困難家庭が退会し、募金集めが心理的負担となっている。貧困家庭、高齢者対策の必要性を痛感しました。町内会本来の役割、意義の再認識と必要性の問いかけ。若い人、未加入家庭に入会の意義を感じる体制の構築（例えば防災時体制の必要などの組織づくり、住民が支え合う温かな関係づくり）。主体的参加出来ると思っていましたが駒扱い。地域のために役立っている活動や充実感など心の支えが得られたら幸いです。
211	70 歳代	令和 4 年 4 月から 7 月までが大変でした。なぜこんなに役員選考が難しくなったのか。20 年ほど前に区長を取り組んだときは楽しい役員会、楽しい町内会を目指して取り組んできたが令和 4 年度の区長としてはとても楽しい役員会、町内会に思えない。今年は町内盆踊り大会を開催出来たが、とにかくコロナ感染拡大の中、中止を言う役員が半数近くいた。役員をやめるとか町内会を退会するとかの発言もあり、心が折れそうになったが何とかあきらめずに皆さんに協力を得ることが出来、開催することが出来た。が、楽しいとは思えない。次年度の役員さんの選考会を開催しています。
212	60 歳代	65 才まで勤める方が増えており、役員の成り手が減っている。共働きの奥様が急増しており、プール監視員が集まらない。
213	50 歳代	コロナ禍のため 2 年間、行事が全くなかった後、今年は全ての行事が行われました。そのため、引きつぎができず、分からない事だらけで会長をやっています。とても大変です。主人は仕事で町内会の事は全くできないので、私がひとりでやっています。パートもあり、家事もあり、町内会の資料作りは夜中になります。そして土日は会議や行事があります。体力的に無理があります。盆踊りも秋祭りもありました。町内会から慰労金が出ますが、他の役員と同じ一万円だけです。市から会長だけに慰労金が出れば少しは頑張れます。ボランティアとはいえ町内会のために自分の時間や体力がなくなるのはやりきれない思いです。行事の少ない町内会がうらやましいです。先日は、公園のベンチのペンキぬりまでやりましたが、だれに聞いても町内会役員がペンキぬりするのを見た事がないと言われました。とても大変でした。来年は町内会を退会したい気分です。
214	70 歳代	高齢化、町内に引越された方々の未加入・無関心がまかり通っている現状が、これからの町内会活動と春日井市の対応（市の市民への伝達事項など）の方策を市も十分に考えていただかないと町内がバラバラになる気がしています。町内会の今後について話し合う所です。
215	50 歳代	現在世帯数が 18 軒です。役が多く数年に一回まわってくる状態です。高齢の方には役が出来ないということもあり、実際 15 世帯でまわっているのが現状です。近隣の区と統合していただきたいという意見もあります。このままでは維持が難しいです。
216	40 歳代	地域コミュニティ作りとして町内会活動は私は有要と考えます。しかし私どもの地域ではかもしれないですが高齢者向けのイベントがメイン、子育て世代としてのメリットは殆ど感じる事はありません。またその高齢者も役員が回ってくると自分達には対応出来ない事を理由に近年は脱退される方が非常に多いです。とは言え現役世代が中心となって運用するには雑務が多く、役員をやりたい無いため脱退する方もおります。共助する力が地域から失われると犯罪率は上がり、災害時の対応力も減少する事は考えられます。地域コミュニティに参加する意義をいかに作って行けるかが今後の課題なのでしょうか。具体的な案がある訳ではありません、すみません。 町内会長になって思う事は、そもそも私は今まで町内会活動に参加してきた訳でも無いですが決め事の判断を求められます。おそらく他の町内でも経験不足の会長に判断を迫られる事は起こりうると思います。ボランティアのレベルで様々な判断、地域の困り事の仲裁も請負う事になると、私も役員を継続する事に前向きにはなれません。役員になるメリットが何かを作り上げる必要を感じます。また、うまく会長として機能してもらうには町内会長の選出を役員未経験者は不可、役員歴 3 年以上と制限をつけるルールを設けると、町内会活動を円滑に進められるかもしれないと思いました。



217	60 歳代	高齢化、少子化、働き方の変化での休日及び時間の変化等により町内会活動が重く参加されなくなった。組長の負担が大きくその中で三役を決定するのでなり手が少ない。集合すると敬老会状態があります。 時代からすればパソコンやスマホによって必要な情報は市のホームページからわかるし、防犯灯等は全額市で見ると思っている。個人の集合体が払うべきものなのか。いずれ会は不必要なものとなるように活動方向を変えていくべきでは。
218	60 歳代	個人情報洩れ等による事案が発生しないような管理ができないので、住所、氏名、連絡先等の情報がわからないような仕組みが必要。昔にくらべて近所付き合いがないので町内会は必要ないと考えている。
219	80 歳代以上	個人住宅より圧倒的にマンション住民が多く、どう運営するかなど全くわからない。
220	70 歳代	村から町へと変化するにつれて、人口の増加、個人主義へと変化に伴い、集団行動への希薄化が問題
221	60 歳代	区長副区長会計をやって頂ける人がおらず、抽選で決めざるを得ない状況になりつつあります。行政側から公務員の方を推薦するなどの対策を講じてほしい。
222	40 歳代	慣例で継続して加入、役員になっている小学校区教育後援会、防犯協会の活動、存在が疑問。町内会や区長が関わる必要がないと思われるので退会したい。
223	40 歳代	書面の回覧で済む内容は集まらなくても良いと思う。
224	70 歳代	4 月から約半年間町内会長をやって感じた事は 1、役員（特に町内会長）の業務が多い 2、不慣れなため処理に時間がかかる 3、問題が生じた時どこへ問い合わせたらよいかわからない 以上等のことから時間にゆとりのある退職者の人ではなく、在職の若い町内会の加入会員の人が輪番で役員を引き受けた時、負担が大きい。
225	70 歳代	段々、町内会活動が不活発になってきている。公園清掃、町内会行事等の参加者も減ってきている。町内会会員の高齢化も影響している。町内会役員（会長・副会長・会計）のなり手がなく困っている。色々な選出方法を考慮しているが、これと言った方策が見つからないのが現状である。市側も、もう少し町内会活動推進に力を入れてほしい。
226	60 歳代	区、連合会と重複しています。シンプルな構成が良いと考えています。
227	50 歳代	町内会エリアの分譲マンションの加入率が低い。セキュリティロックの玄関が有り、訪問も手間がかかる。集金などにも時間がかかるという問題点がある。マンション毎に小さい町内会を作り（マンション管理組合内）、区に加入してもらいコミュニケーションを取るやり方が良いかもしれない。
228	60 歳代	町内会入会者が少なく高齢者の退会が増している。今後の活動の中での減少化が進む。
229	60 歳代	区の運動会は年々子どもの人数が減少していてもやめてほしい。月に 1 日の定例会をリモートにしてほしい。
230	70 歳代	区長選びが苦勞してます
231	70 歳代	現況の町内会の活動はあと良くて 10 年ほどが活動かと思えます。住民の全員参加を目標にしましょう。
232	80 歳代以上	地区社会福祉協議会の行事は当地区では参加者が見込めず、無関心の一言。コロナもあり、当分行事は開催できない可能性が高く、負担している会費もムダ金。廃止が望ましい。最低限参加は各区の自由とするべきである。

233	70 歳代	加入者減少に伴い、役員決めの際毎回苦慮している。従って退会者が増える。私事ではありますが、長く 2 人の介護を続けながらの役員です。若くもない私どもには大変な日々でした。こうした現実では退会者が増えるばかりだと考えます。若い方はすぐに共働きと言います。働いていないからと、役員を押し付けるのもどうでしょうか？！
234	40 歳代	土日も基本的に仕事なので町内、区会の活動に出席するのも正直きつい。
235	40 歳代	町内会の入会者が少ないので役員、組長の順番が早く回ってくる。年配者が多く、全体的に高齢化してしまっている。任期が短いので町内会の仕組みなど解りはじめた頃に終わってしまう。自治会規約の変更が必要だと思うが三役の一部など続けてできるようにした方がより良い活動ができると思う。
236	40 歳代	役員は毎年順番に持ち回りだが、お年寄り世帯には負担が大きく、町内会脱会の原因になっている。やれる人が役員をやれば良いのかもわからないが、ルール作りが難しい。
237	30 歳代 以下	代表者選出が輪番・もちまわりで引越し後間もなく町内会会長の役割がきた。高齢化により引継ぎ資料も何もなく役割免除（町内会長以外の役割変更など）もなく非常に苦労した。やはり問題点としては高齢化があげられ、積極性はなく次世代加入にはハードルが高いように感じる。各団体、役割毎の年間スケジュール作成は必須と思う。
238	50 歳代	会長をしてみてわかったことですが、町内会のことをよくわかっていない人が多く、コロナなどで行事もなく、休日は習い事や色々あり、参加することもできないと町内会に入ることをムダと思う方もいました。役員をして人との関わりが大切で皆さんが住みやすい居心地よと感じていただけるようになると思います。
239	40 歳代	町内会という特殊なコミュニティなので運営が難しい。町内会に入らなくて生きていけるので皆さん町内会へは入りません。このままでは町内会がどんどん衰退します。
240	50 歳代	共働きも増え、また、集合住宅では交流もなく、町内会としての活動も難しいです。
241	40 歳代	市営住宅だからと、強制的に加入させられた。高齢化・障がい者が、入居者であるのに、それ以外への負担増は、不公平だ。
242	50 歳代	町内会の活動に疑問あり。十人十色の考え方があり、意見がまとまるわけがない。一部の人の意見が通ってしまいそれに流されている世の中。みんな自分が生きていくことに一生懸命。あまりまわりのことなど気にすることがなくなってきていると思います。自治会がなくなったとしても市から情報発信をネットですていただければいいと思っています。
243	70 歳代	町内会長職を 1 期 3 年とし、手当を大幅に見直す。会計も同上とする。連合会の役職も 1 期 3 年～5 年位にすると良い。手当も見直す。
244	60 歳代	今年、別部会（今後町内会長対象者 10 名からなる部会）を作り、活動。 1 事務局の設置・・・会長職の職務軽減する事でなり手を増す。 2 町内会加入者を増やす・・・町内会活動情報の見える化、HP、ライン。 3 高齢者世帯へのみまもり活動・・・町内会の活動目的を自主防災等非常時緊急時に助け合える組織しくみ作り 以上 3 点にしぼって組織案を検討しまとめて、総会にはかり、令和 5 年度以降実務活動に移行する計画をすすめています。これらに支援出来る知恵・助成金があればご協力お願い致します。
245	60 歳代	町内会としての魅力がない。入っても入らなくても支障がない。役員にあたると辞めてしまう。
246	70 歳代	当町内会は昭和 55 年頃に区画整理が完了し、急速に人口が増加した地区です。地元の方（10～20%）と転入してきた方（80～90%）が混在しています。最近の転入世帯は交際範囲・知名度が狭く、町内活動には消極的な方が多く見受けられます。同時に大正から昭和まで続いてきた旧部落の運営組織（年行事・氏子・寺委員など）や仕来りが依然と存在して難しい点があります。町内会長・組長は輪番制が根付きつつあるが、高齢者世帯の中には役員が来るからと退会する方が少ない。区長・町内会長は原則 1 年から 2 年で交代します。町内会活動に対し前向きで精力的に活動すればするほど負担が増加して役員の後継者が見つからなくて苦労する方が多いのが現実です。



区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

247	50 歳代	会長の負担が多すぎる。なり手がいないため、体育振興や他の委員等兼任が多く月に1～2度会合があり、イベントのたびに会合が増えかなりの負担です。そのため組長になるのをためらい、町内会を抜ける人が増える一方です。必要な部分もありますが、現代と昔ながらの町内会の仕組みには大きな隔たりがあると思います。市民から一律町内会費を集め、各地区の人数に合わせた金額を補助金として出し、ボランティアを募る。他の団体にイベント時は依頼する等見直す時期に来ていると思います。団体の長の方が各委員にイベントの強制をする報告も受けています。すべての方がボランティアです。強制はどうかと思います。このままでは維持も困難な時期に来ていると思います。
248	70 歳代	少子高齢化は全国どここの団体でも見られるが、このまま放置できない問題があります。近い将来自治会活動そのものができなくなる可能性が大きいと思われる。特に地区社協、子ども会の活動です。市や県、国レベルで考えてもらいたいと思っています。
249	60 歳代	町内会の行事で感じたこととして、農家の方（地元の方）の行事が多いことを感じています。春日井市に移り住んできた方とのつながりの大切さが高齢化の進む区に必要。コロナ禍での思い切ったことが出来なかったのも事実ですが、つながる事を今後の課題にできたら。 お祭り、盆踊りの盛り上がりも心配しています。期待感、ワクワク感のたいせつさを痛感。敬老会は本当にみんなが楽しめているか心配。女性の参加者のみ、男性は島役員さん以外0。公民館の地域での利用が増えることによって普通にどの方も楽しめる場所になるようにできればと思います。
250	60 歳代	役員の負担がとても大きいので、出来れば、1回役員をやったら次回は省いてほしい（くじ引きで決められているので）現在無職でも、役員の仕事がかかりあり、平日や休日も用事があるので、仕事をしている場合は無理だと思います。
251	30 歳代 以下	役員決めが半強制的だった。未就学児（乳児）を2人抱えての業務は負担が大きく、町内会の存在自体に疑問を感じる。
252	60 歳代	自治会役員・会員ともに満足しております。ありがとうございます。
253	60 歳代	高齢者世帯の組が、組の維持（組費の集金、一斉清掃の負担）が難しいとの理由で解散するケースが出ている。この事は、高齢者の孤立化に拍車をかけることになるとされる。防止のためのシステムが必要と思われる。周辺の組で吸収合体して、カバーして、カバーする世帯分の補助金を支給する等
254	40 歳代	地域の高齢化も問題ですが、町内会の役割としての必要性も重要だと思います。ただ業務負担がかかるのも大きく、役割が集中しやすいです。今回40代ということで仕事をしながら行っていますが、負担は大きいです。60～70代の仕事を引退された方等が社会参加の機会として生かすのがベストだと考えます。認知症や引きこもりの予防になると思います。費用など補助もあるとよいかなと思います。
255	50 歳代	町内会活動は町内の人々のコミュニケーションが活発になるような活動に専念できるようにしてほしい。町内会があって楽しいと思えるようにしてほしい。
256	60 歳代	高齢を理由に町内会の役員を引き受けない人が増えてきています。これまでは“平等”に役員を回してきましたが、それが難しくなりつつあります。どのように町内の環境を維持し、町内の“質”を保っていくのか難しい問題です。草刈、側溝の清掃、ごみ集積所の清掃とともに各家の庭木の手入れ、防犯灯の管理、監視カメラの管理など、町内の“質”を落とさない努力が必要です。そのために市役所からの支援は大変ありがたいものです。 町内役員と市役所担当者とのコミュニケーションを一層深めていくことが重要だと思います。
257	60 歳代	「町内会」数十年前なら全世帯参加で特にイベントもなく、お祭り等を楽しみにしてという事もあったかもしれないが、今は時代が違う。役員も当番だから、くじだから仕方ないという理由で嫌々やっている。数年後70代後半～80代が大半をしめる事になって、果たして町内会が必要なのかとも思える。
258	60 歳代	役員の高齢化（入院等）に伴い役員の後継者がいない。若い人達は全く役員の参加をしない。人間関係がわずらわしい。
259	70 歳代	市では担当部署が多くある事は理解していますが、それぞれからの「お願い」や「依頼」が多くて驚いてます。最近では若いご夫婦の転入もありますが、共働きで昼間は留守宅になっています。その為、「回覧板の戻りが遅い」と班長の話しです。春季のクリーン作戦も参加しない家もあります。

区・町内会・自治会向け町内会に関するアンケート調査 報告書

260	70 歳代	当初は各組毎にソフトボール大会等いろいろ実施していたが、高齢化、場所の確保等で団体行動が出来なくなっている。自治会全体での事業等もなかなか厳しいと思う。ごみステーションも現在 3 か所あり、高齢化で増設をとの要望があるも設置場所がなく負担となっている。市の方で町内会等運営や問題点等もいろいろ情報が入っていると思われます。そういうのをまとめられた物があれば各方面へ周知し参考となるようにされたらどうでしょうか。
261	60 歳代	住民約 320 世帯ありますが、入居から 40 年高齢化が進み若い世代・子供が少なくこの先町内活動に不安を感じております。新しい方法等の情報があれば教えて頂きたい。
262	60 歳代	自治会構成員の高齢化、会員減少により活動内容の単純化、活動量の減少が望ましい。